

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立富岳館高等学校

住 所 富士宮市弓沢町732番地

電話番号 <0544>27-3205

Fax番号 <0544>26-8849

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	18
学校施設の概要	19
在籍生徒調	21
入学志願者及び入学者数調	22
卒業生の動向調	23
生徒の状況	26
授業料収納状況調	27
歳入予算執行状況調	28
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	34
現金出納調	34
保管現金有高調	35
預金調	35
郵券等受払調	35
材料品受払調	35
歳入歳出外現金調	36
歳出予算執行状況調	37
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43
委託料に関する調	44
負担金支出調	50
建築工事調	51
公有財産調	53
借地借家等調	54
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	56
行政財産貸付・使用許可調	57
備品・図書調	59
主要備品調	62
動物管理状況調	63
生産物受払調	64
職員調	78
職員の年齢調	80
健康管理	81

事務事業の概要

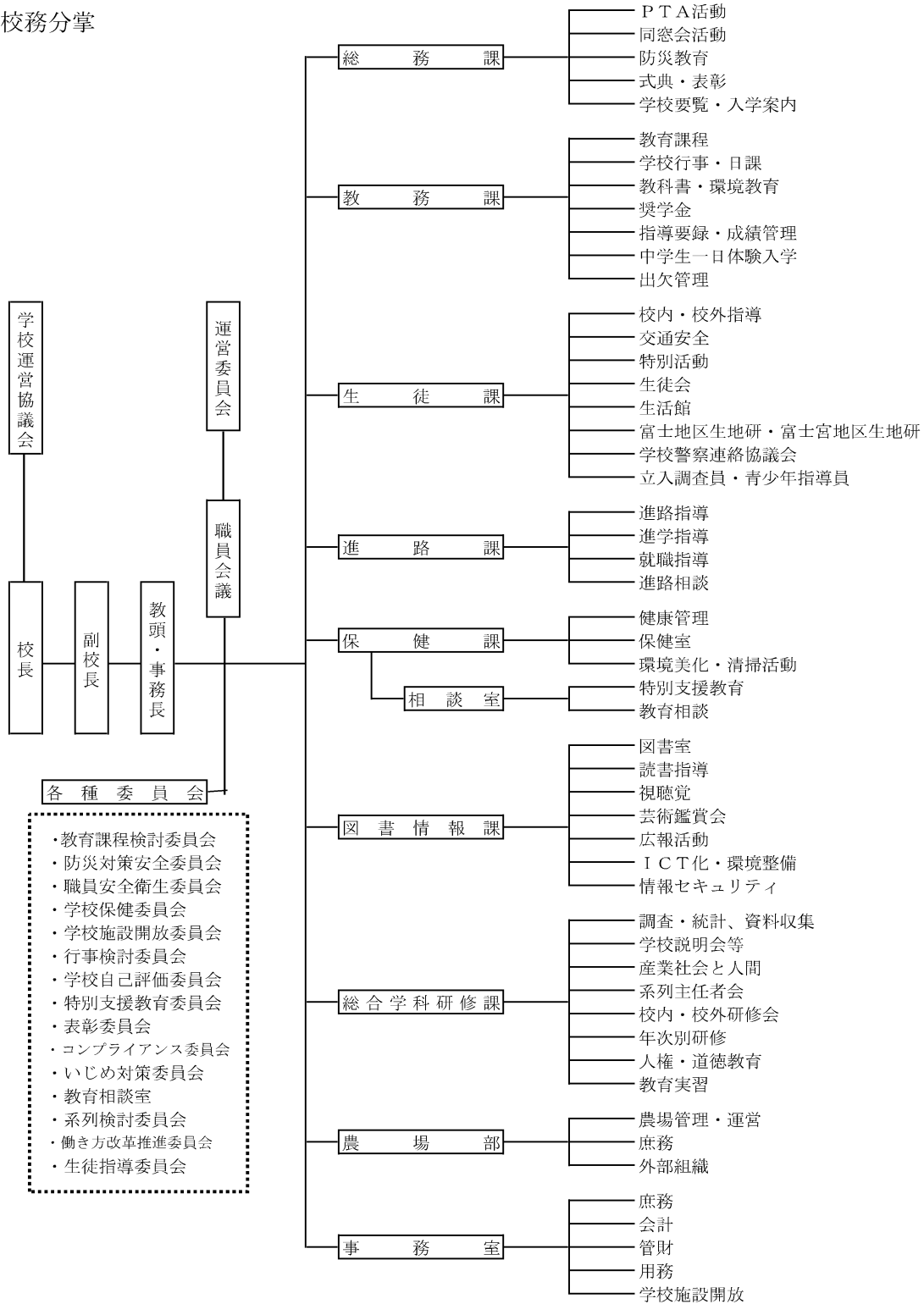
1 概況

(1) 学校の沿革

明治32年 5月	大宮町源道寺139番地に学校用地を確保
33年 5月31日	静岡県富士郡立富士農林学校として設立認可
33年 6月 4日	大宮町字万野原に蚕室を借用、仮校舎として改造し、開校
34年 9月12日	大宮町源道寺139番地に新校舎落成し移転
43年 3月14日	修業年限1ヶ年の養蚕専修の別科付設認可
大正 7年 3月15日	静岡県富士郡立富士農学校と改称、4月より養蚕専修の別科廃止
8年 3月 7日	県立に移管し静岡県立大宮農学校と改称
昭和17年 6月 1日	静岡県立富士宮農学校と改称
23年 4月 1日	学制改革により静岡県立富士宮農業高等学校と改称(園芸・林業・畜産の3類型)
25年 4月 1日	農村家庭科(女子)を増設
34年 3月 5日	講堂兼体育館完成
38年 4月 1日	高等学校課程編成により畜産科(定員40人)・農業土木科(定員40人)を設置し、農村家庭科を生活科(定員50人)と改称。これにより農業科の園芸(定員50人)、林業(定員50人)の2類型が残り、1学年の定員は合計230人
39年 3月31日	本館完成(RC 3階建)
41年 4月 1日	生徒定員改正により農業科(定員80人)・生活科(定員40人)に減員、これにより1学年の定員は200人
42年 4月30日	本館二期工事完成(RC 4階建)
44年 4月 1日	園芸科の設置(定員40人)に伴い、農業科定員80人は農業経済類型として定員40人に減員(1学年の定員は200人)
45年 3月31日	体育館完成
56年 6月30日	生活館完成
56年 8月20日	プール完成
57年 9月22日	耐震補強工事完成(本館4階部分、昇降所棟)
61年 3月10日	別館完成(RC 3階建)
61年 4月 1日	食品流通科の設置(定員40人)に伴い、農業科を廃止(1学年の定員は200人)
平成 3年 4月 1日	生活科を生活科学科(定員40人)と改称
4年 3月31日	草花温室2棟完成
5年 3月25日	草花温室2棟完成
6年 2月15日	草花温室1棟完成
6年 3月15日	テニスコート(2面)完成
6年 3月25日	草花温室1棟完成
6年 3月25日	運動部部室棟完成(S 2階建)
12年11月18日	創立100周年記念式典挙行
13年 6月29日	実習棟完成(S 2階建)
14年 2月28日	管理特別教室棟完成(RC 4階建)
14年 4月 1日	静岡県立富岳館高等学校と改称し、単位制総合学科に改編(1学年の定員は240人)
15年 3月31日	武道場(S平屋建)、渡り廊下(S 2階建)完成
16年 3月31日	農業科を閉科
20年 9月30日	朝霧農場廃止
23年10月28日	耐震補強工事完成(園芸実習棟、機械実習棟)
26年 4月 1日	「建設デザイン系列」を「工業テクノロジー系列」に改組
令和 2年 4月 1日	「人文科学系列」「キャリア教養系列」「こども地域福祉系列」を新設
2年11月 6日	創立120周年記念事業挙行
3年 3月31日	「国際教養系列」「社会科学系列」「健康福祉系列」を廃止
3年 4月 1日	1学年の定員は200人

(2) 組織図

校務分掌



2 スクールミッション・スクールポリシー

(1) スクールミッション

富士山の豊かな自然と文化に恵まれた、富士・富士宮地域で最も伝統があり、かつ新たな道を歩み続ける総合学科の高校として、生徒一人ひとりが主体的に多様な学びを選択し、探究的に学習することを通して、地域社会の持続可能な発展に貢献し、たくましく生きる力を備えた人材の育成を目指す。

(2) スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような力を身につけます～ 【自身を育てる力】 ・先を読み、自ら考え、判断する ・選択し、行動する 【他者につながる力】 ・協働する （他者に伝え、他者から聞き、他者と活動する力） ・多様性を尊重する （他者の考えを認める力） ・規範意識 （他者への配慮、思いやりルールの理解する力） 【自分を信じる力他者を信じる力】 ・自己肯定感 ・信頼	～本校ではこのような学びを行います～ 【人とつながる学び】 ・生徒自身が、人とかかわるために必要な基礎力について考え、自ら取り組む学び ・生徒主体の学校活動を全員で支援し合う学び 【将来につながる学び】 ・様々な体験により、生徒が自分自身の特性に気づき、将来への道筋を選択していく学び 【系列がつながる学び】 ・各系列の特色をいかし、連携することで、さらなる強みを生み出す学び 【地域につながる学び】 ・地域で何ができるのか、生徒自身が発見し、他者と協力し、実践し、発信する学び	～本校ではこのような生徒を求めています～ 【学校活動】 ・授業、学校行事、部活動等、学校活動に主体的に取り組み、自ら成長しようとする生徒 【地域社会】 ・地域社会に興味を持ち、地域の発展に役立ちたいと考える生徒 【つながり】 ・人とつながり、協力しあい、共に高めようとする生徒 【得意なこと】 ・自分の得意なものを見つけ、さらに伸ばし、将来を切り開いていきたい生徒

(3) スクールポリシー具現化の柱

- ア 人とつながる学び
- イ 将来につながる学び
- ウ 系列がつながる学び
- エ 地域につながる学び
- オ 教育環境の整備と信頼される学校づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

ア	<p>確かな学力と応用力・実践力を持つ生徒の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「わかりやすい授業をするために、教材や教え方を工夫した取組みを実践している」と答える教員 95%以上 「ICTを効果的に活用した指導をしている(受けている)」と答える教員(生徒) 90%以上 授業参観週間年2回以上 校内研修年3回以上(短時間の物含む) 「本校の授業は、学力向上に役立っている」と答える生徒 90%以上 「宿題やレポート等、授業の他の学習を行っている」と答える生徒 75%以上 「資格取得・検定等に積極的に取り組んでいる」と答える生徒 60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「かなり当てはまる、ほぼ当てはまる」で 97.2%が回答しており、目標を十分達成できている。 82.8%の教員、87.5%の生徒が「できている(受けている)」と回答。目標には届かなかったが、昨年度より教員が 8.3 ポイント、生徒が 1.2 ポイント上回った。 年2回実施できた。 年3回実施できた。 92.7%の生徒が「役立っている」と回答。目標を十分達成できている。 79.5%の生徒が「行っている」と回答。目標は達成できた。昨年度からも 1.2 ポイント増加した。 45.1%の生徒が「取り組んでいる」と回答。昨年度より 7 ポイント減った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後の継続が大切。ICTをうまく活用できた。わかりやすく系列に応じた授業を展開できた。 GoogleClassroomをうまく活用できた。その中で生徒が効率よくICTを活用できるよう指導した。初期指導で基本操作を身に付けさせたい。農場でのWIFI環境が整備された。 教員の参加率を上げ、お互いが切磋琢磨するようにしたい。 目標は達成したが、「あまり当てはまらない」以下の 7.3%の生徒への対応が大切。 意欲・関心を持てる授業や授業外の学習指導が生徒に波及している。小テストの設定が家庭学習を促した。教員の負担増となる。 上級学年での減少が目立つ。1年次からの計画的な取得への道筋が大切。検定の精選が必要。
イ	<p>地域社会で活躍できる、高い規範意識を持つ生徒の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教科または系列での外部講師招請授業年3回以上 「校外へ出向いて、地域との交流活動を行っている」と答える生徒 60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの教科系列で講師招請事業を3回以上(7回実施もあり)実施できたが、実施が困難な教科もあった。 「行っている」と回答した生徒は 44.2%であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降も継続したい。系列や教科内で計画的な実施を検討する。 系列や部活動により差が大きくなっている。全体で実施できる内容の検討も必要。

		<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体の挨拶運動を 通年実施 「挨拶がしっかりできる」と答える生徒 95%以上 「正しい制服の着こなしができています」と答える生徒 95%以上 「相手のことを気遣った考え方や行動を心掛けている」と答える生徒 95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心に概ね月 1 回実施した。目標は達成できた。 「挨拶ができています」と回答した生徒が 92.0%。 「正しい着こなしができています」と回答した生徒が 97.5%。目標は達成できた。 「相手のことを気遣った考え方や行動ができる」と回答した生徒が 96.1%。目標は達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や正しい制服の着用の励行を引き続き実施する必要あり。自ら率先してあいさつができる生徒の育成。一定以上の規範意識は持っている。 校則などのルールについて、生徒が自ら考える機会を設ける必要あり。 思いやりを持つ生徒を育成できている。 スマホ使用に関しては今後も注意が必要。
ウ	<p>キャリア教育・探究学習を計画的・発展的に行い、一人ひとりに応じた進路希望を実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「教科・系列横断型の学習内容になるよう計画的に進めている」と答える教員 60%以上 「進路活動や探究活動に意欲的に取り組んだ」と答える生徒 85%以上 「将来の夢や目標がある（を見つけようとしている）」と答える生徒 90%以上 「系列・科目選択のために、十分な指導を行っている」と答える生徒 90%以上 「一人ひとりに対応した進路指導を行っている」と答える生徒 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 各系列体験を通して生徒の進路意識を醸成している。 目標達成は各担当で差が開いた。 「取り組んでいる」と回答した生徒が 92.1%。長期休暇を利用して探究活動についての行動を指導した。目標は達成できた。 「ある」と回答した生徒が 86.2%。目標には届かないが、昨年度とほぼ同数値であった。 「行っている」と回答した生徒が 95.7%。目標は達成できた。 「行っている」と回答した生徒が 92.7%。目標は達成できた。進路に合わせた校外実習を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 産業社会と人間では計画的に実施できている。今後の継続維持が課題である。他教科と合同で授業を行う時間がとれない。講師招請事業等で実施できるか検討したい。シラバス等を見直し、計画的に進めたい。先を見越し前年度から計画を立てる。実際に実施することで、理解に至った。 次年度も継続的に取り組みたい。教員の指導については一定の評価は受けている。生徒たちが地域に目を向けるきっかけとなった。 学校での全般的指導が、生徒の生き方や進路意識に良い方向として影響している。 次年度も継続したい。 教員減も視野に入れ、細やかな進路指導を行っていく。施設実習等で体験し、ミスマッチを防いでいる。個別や担任指導が多く、負担が大きかった。丁寧な指導が行えた。
エ	<p>たくましく生きる力や豊かな人間性を持つ生徒の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動に主体的に参加している（いた）」と答える生徒 90%以上 「学校行事に積極的に参加している」と答える生徒 95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 「参加している」と回答した生徒が 95.1%目標は達成。 「参加している」と回答した生徒が 97.2%目標は達成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 多くの部活動が県大会以上に出場し活躍できた。 引き続き部活動や学校行事の活性化に取り組んでいく。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活が楽しい」と答える生徒90%以上 ・「朝読書の指導が適切に行われ、生徒の読書・学習習慣の定着が図られている」と答える教員95%以上 ・「図書室だより」発行年10回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」と回答した生徒が、90.2%。目標は達成できた。 ・「図られている」と回答した教員が97.2%目標は達成した。 ・「図書室だより」は2学期までに13回発行。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などを通して、楽しいと感じられた。当ではまらない生徒への対応が課題。学校行事の役割を果たすことができた。充実感を得た生徒が多かった。日常生活の中にも達成感が得られる仕掛けが大事 ・朝読書の指導・効果が適切に発揮され、図書室運営を円滑に行われた。
オ	教育環境を整備するとともに、安全・安心で信頼される学校づくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「清掃活動をしっかり行っている」と答える生徒100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・行っていると回答した生徒が99.5%。昨年度より1.8ポイント増加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全員清掃が徹底している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒が健康で安全な学校生活を送れるように、健康指導・安全指導が適切に行われている」と答える教員90% ・「困ったときに相談できる（信頼できる）先生がいる」と答える生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「適切に行われている」と回答した教員が97.2%。目標は達成できた。 ・「いる」と回答した生徒が82.7%。目標は達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・登校、下校指導を14回実施した。全校生徒対象に交通安全教室を実施した。重大事故に対する指導の充実が必要。教員の研修も大事。 ・校内外の連携により適切な対応が重要。生徒に寄り添うことが大事。できることとできないことの線引きを。校内での情報交換を密にし、臨機応変の対応を心掛けていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での事故ゼロ ・「地域防災訓練に年1回以上参加した」と答える生徒50%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく目立った事故はなかった。 ・「参加した」と回答した生徒が35.3%。昨年度より7.5ポイント増加 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかで適切な対応により重篤な状態に陥る事故はなかった。 ・参加率は、まだまだ低い。呼びかけや啓発活動を充実する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPの記事更新週5回以上 ・Instagramの更新週5回以上 ・随時マスコミへの情報提供 ・広報資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月末時点でHP10件、Instagram146件の更新。Instagramは目標を達成した。 ・随時マスコミへの情報提供を実施できた。 ・随時、広報資料は作成できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・C-Learningの普及によりHP、Instagramともに更新頻度の向上につながった。記事提供には教員格差が大きく、教員間の温度差をなくすことが重要。 	
	教職員の働き方改革の推進と多忙化解消	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の均衡化 ・「会議資料やマニュアル等の整備に力を入れて 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化については88.6%が「努めている」と回答。 ・「力を入れている」と回答した教員が 		<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を明確にし、協力して業務を遂行できた。一部の教員に業務が集中する部分があった。不公平感のないような工夫が必要。 ・資料のマニュアル化はお

		<p>いる」と答える教員 85%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職員が相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場の雰囲気がある」と答える教員 80%以上 ・ 定時退勤日や長期休業中の休暇取得 90%以上 	<p>82.9%。作年度より 1.5 ポイント増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ある」と回答した教員が 65.8%。昨年度より、5.3 ポイント増加した。 ・ 定時退勤日は週 1 回のペースで実施。夏季休業中の休暇促進日の取得率は 74%。 	<p>B</p>	<p>おむね達成できた。誰もが対応できるマニュアル化、組織化の一層の充実が必要。会議資料が多すぎる。C-Learning、百問繚乱等の導入が業務効率化につながっている。情報関係の業務は大幅に増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風通しの良い職員室の雰囲気づくりを実践する。 ・ 引き続き、定時退勤日を設定し、積極的な休暇取得を呼びかけていく。それと並行して、業務のスリム化、平準化を実現する。
--	--	--	--	----------	--

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法	成果目標	担当部署
ア 人とつながる学び	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が、人とかかわるために必要な基礎学力について考え、自ら取り組む学び ・生徒主体の学校活動を全員で支援し合う学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価B(おおむね満足できる)レベルについて、共通理解を持つ ・生徒自身が学ぶレベルや学ぶ方法を選択し、個別最適な学びになるよう授業や課題について工夫する ・ICTの活用により、個々の生徒にあった学習を支援する ・人とかかわる「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、協働的な学びを授業で実践する ・生徒主体の学校活動になるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価B(おおむね満足できる)レベルについて、教科等で検討し、生徒に示した100% ・自分の到達したい学習レベルを目標として掲げられる生徒80% ・レベルにあった学習方法を自分で選択できた生徒80% ・ICTの効果的な活用を指導している教員90% ・ICTを活用し、自分にあった学習ができた生徒 80% ・他者の授業を参考に授業改善をした教員100% ・研修で得た新たな情報を活用した教員100% ・他者の意見を聞き、自分の考えを他者に伝え、互いに理解しあう活動を、授業内で実践している教員90% ・どの授業でも自分の考えを他者に示すことができていると答える生徒80% ・常に生徒を支援する言葉を投げかけている教員100% ・自分の考えを学校生活(授業・HR活動・学校行事・部活動など)で生かすことができると答える生徒80% 	教務 進路 総研 生徒 図情 総務 教科 学年

イ 将来とつながる学び	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験により、生徒が自分自身の特性に気づき、将来への道筋を選択していく学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」や「朝講話」で、生徒が自己理解を深めるための情報提供や体験活動を行う ・生徒の興味関心に応じた「総合的な探究の時間（SDT）」を展開する ・授業で身に着けた力が生徒自身のキャリア形成に欠かせないことを理解できるように、授業展開を工夫する ・生徒の適性や多様な進路希望に応じたきめ細かな進路指導を実践する ・読書啓発活動の推進し、自己の在り方、生き方について理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒のキャリアについて考えが深まったか、確認し合う振り返りを常に実施したと答える生徒と教員100% ・自分の得意とすることが、明確になり、将来について考えが進んだ生徒80% ・授業での学びがキャリア選択のために必要であると答える生徒80% ・卒業後の進路について、相談することができる環境が整えられていると答える生徒と教員80% ・読書をする習慣があると答える生徒80%以上 	進路 教務 総研 図情 学年 教科
ウ 系列がつながる学び	<ul style="list-style-type: none"> ・各系列の特色をいかし、連携することで、さらなる強みを生み出す学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列の特色が周囲に発信され、各系列の魅力が理解される活動を展開する ・複数の系列の生徒がかかわる学びを実践する ・複数の系列の知識や技能が活用された新たな取り組みを実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数系列が同時に展開できるSDTの授業を構築する ・複数系列がかかわる活動を実践した教員30% ・系列で身に付けた自分の強みを説明できる生徒80% ・他の系列の生徒に、自分の系列の強みを生かした提案ができた生徒60% 	教務 総研 系列 教科
エ 地域とつながる学び	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で何ができるのか、生徒自身が発見し、他者と協力し、実践し、発信する学び 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となり、他者と協力し、地域との交流活動を計画する ・他者へ配慮した行動を意識した地域活動を実践する ・地域が抱える課題を理解し、解決に向けて考え、実践するために必要なルールを模索する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流で他者のために力を発揮できた生徒80% ・他者の気持ちに寄り添った挨拶や行動を常に心がけた生徒80% ・地域で実践したことを多くの人々に伝えることができた生徒80% ・場に適したルールについて仲間と考え実践した生徒と教員80% 	教務 生徒 系列 教科 学年

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">オ 教育環境の整備と信頼される学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境を整備するとともに、安全・安心で信頼される学校づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに快活な学校生活を推進する ・教育相談体制の充実させる ・清潔、整理整頓を心がけ、教育環境を整備する ・安全・安心な学校生活を実現するため、情報モラルや道徳教育を推進する ・施設整備の点検・巡視を定期的に行い、危険箇所を改善する ・実践に即した防災訓練を実施し、危機管理能力の向上を図る ・積極的な情報発信、広報活動を展開し、地域から愛され必要とされる学校運営を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が楽しいと答える生徒90%以上 ・困ったときに相談できる（信頼できる）先生がいると答える生徒80%以上 ・教職員が相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場の雰囲気があると答える教員80%以上 ・清掃活動をしっかり行っている生徒100% ・生徒が健康で安全な学校生活を送れるように、健康指導・安全指導が適切に行われていると答える教員90% ・校内での事故ゼロ ・地域防災訓練に年1回以上参加した生徒50%以上 ・HPやInstagramを更新した教員80% ・随時マスコミへの情報提供 ・広報資料の作成 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">保健 事務 生徒 学年 総務 総研 管理</p>
	<p>教職員の働き方改革の推進と多忙化解消</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務や行事の精選、円滑な運営・引継が可能な体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の均衡化 ・定時退勤日や長期休業中の休暇取得90%以上 ・部活動の在り方について検討する 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理 生徒 全課</p>

4 監査対象期間における特色ある取組（太字は学校経営計画の取組目標）

	取組概要	成果及び課題
6 年 度	<p>[確かな学力と応用力・実践力を持つ生徒の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業テクノロジー系列では、ものづくりマイスターにタイル貼り付け工事を指導してもらい、昇降口正面階段のタイルの張替えを行った。 <p>[地域社会で活躍できる、高い規範意識を持つ生徒の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> こども地域福祉系列の「認知症サポーター」の取り組みが、全国キャラバンメイト連絡協議会主催の「認知症サポーター優良活動事例」の最優秀賞に選ばれた。地域住民や企業と連携し、主体的に「認知症カフェ」を企画・運営していることが評価された。 ボランティア部が、富士宮市立病院に「認知症マフ」16個を寄贈。 生物生命系列では、生物活用の授業において、サツマイモのつる挿しでこども園と交流した。 生物生命系列植物コース3年の野菜の授業で東小学校の2年生と夏野菜の栽培について交流を行った。 生物生命系列動物コース3年の畜産の授業で、小学校1年生の「生活」の命の大切さを学ぶために動物ふれあいを行う。 富士リハビリテーション病院の依頼で、動物介在療法として入院患者との動物ふれあいを行った。 ポニー牧場「エヘガザル」の馬まつりにスタッフとして参加し、引馬乗馬を行った。 <p>[キャリア教育・探究学習を計画的・発展的に行い、一人ひとりに応じた進路希望を実現]</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内系列や部活動などの各種団体と、近隣店舗に御協力を頂き、朝市「岳市楽座」を定期的に開催し 	<ul style="list-style-type: none"> 本物の技を見ることで、学校に残す作品を製作し、技術向上の大切さを知った。また、自ら校内の一部の施工を手掛けることで愛校心が増した。（岳南朝日、建通新聞等取材あり） 「認知症カフェ」は、市やキャラバンメイト、医療関係者、地域包括支援センター等、地域の協力を得てイオンモール富士宮で年3回開催され、高校生との会話を楽しみに訪れる人も増えている。 生徒自身の認知症理解が深まるとともに、地域における認知症の方やご家族の居場所作りに貢献している。 令和4年度から、ボランティア部では地域貢献を目的に、マフ（認知症の方の落ち着かない手を優しく包む筒状のニット小物）を制作し、これまでに高齢者施設に約70個を寄付している。今回は、部員の作成したもの14個、地域の方から預かったマフ2個を病院に寄贈。地域の方からは、材料の毛糸やフェルト、マフの胴体部分、完成したマフなどの寄付があり、多くの方から共感を得る活動となっている。 生物生命系列では、これまで学んだ農業の知識や技術を社会で活用する方法を学んでいる。その一環として、こども園の園児約40人を農場に招きサツマイモ栽培実習交流授業を行った。 夏野菜のトマト、ナス、キュウリ、オクラなど小学生が選んだ野菜の管理方法を講演し、実際に小学生が植えた野菜の管理方法を一人ずつ生徒が教えながら作業を行った。 ※岳南朝日の取材済み。 生物生命系列での学びを活かし、小学生に動物のすばらしさを教え、安全な動物ふれあいができる技術を生かし、命の大切さをともに学ぶ。 看護師や作業療法士の指導の下、患者に動物と接してもらった。これにより、患者に笑顔が満たれたり、普段あまりしゃべらない患者がしゃべるようになったりした。 生物生命系列馬研究班では馬が人に及ぼす影響を探求しており、その一環として地域で行われる馬まつりに参加し、馬の効果を地域の人たちに伝える活動を行った。 ※岳南朝日より取材を受ける 校内の各種団体・地元企業・店舗・御近所にお住いの方々と生徒といった学校と社会の懸け橋となれるよう、広報・集客や企画運営を行な

<p>ている。基本的には月に1回を目標にしている。部活動紹介や中庭全体を使った出店に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岳市楽座」でフラワーアート部が朝市として農産物の販売、動物愛好部が「ふれあい動物園」を企画・運営している。 ・こども地域福祉系列が、富士宮市立東小学校4年次生76名対象の福祉講座を生徒主体で開催（令和6年6月24日）総合的な学習の時間に「地域福祉のために自分にできることを考える」をテーマに、生徒による特別授業を実施した。 ・環境科学部では地元企業由比缶詰所様とのコラボにて製作した「みそっこツナちゃん」の販売の継続。 ・静岡県学校農業クラブ連盟大会において、プロジェクト発表の部で最優秀賞を受賞し、関東大会に出場する。 ・生物生命系列では、アサヒ飲料とJAふじ伊豆と連携して茶かす堆肥を使った地元特産物（落花生）試験栽培に着手した。 <p>・こども地域福祉系列こどもコースが、12月24日（火）に、富士宮市総合福祉会館で（株）電通「こどもの視点ラボ」による、こどもの気持ちを体感できる「こどもの視点教室」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学系列で、難民支援プロジェクトとしてユニクロとGUを経営するファーストリテイリング本社から講師を招いて、世界に1億人以上いる難民の現状について、また同社が行っている支援活動についてお話をいただいた。これから人文科学系列でも着なくなった子供服を集める活動を始める。 	<p>う。地域からはおなじみのイベントとして知れ渡ってきた。地元で愛される学校を目指す。今後も学校の良さを発信し、開かれた学校となるよう進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となって、日頃の学習で身につけた知識や技術を生かしている。地域の課題にも目を向けられるようになり、地域住民からも好評で地域が活性化している。 ・地域福祉に関するクイズや、富岳館生が日頃実施している地域寄り合い処や認知症カフェの説明などを、レクリエーションや動画視聴などを交えながら、わかりやすく伝えた。小学生と高校生が地域について一緒に考える取り組みにより、お互いの視野が広がり、社会性が育つ機会となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業様とのコラボで商品を完成させた経緯を後輩として受け継ぎ、新たな開発への意気込みを高めた。 ・生物生命系列では「農業と環境」を学び、地域環境について探求学習を通じて知識や技術を身に付け、地域の絶滅危惧種などの保護活動にも取り組んでいる。 <p>※令和6年6月15日の日本農業新聞に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの参加者が訪れ、生徒もしっかりと発表できた。幼児の視点で日常を体験するという取り組みが概ね達成できた。 <p>※令和6年12月25日の静岡新聞に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に共感していただき、たくさんの子供服が集まり、難民キャンプに送ることができた。生徒もグローバルな視点で物事をとらえる学習ができ、大変良い経験となった。
---	--

	取 組 概 要	成果及び課題
7 年 度	<p>[生徒自身が、人とかかわるために必要な基礎学力について考え、自ら取り組む学び]</p> <ul style="list-style-type: none"> 人文科学系列の、人とかかわる「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、協働的な学びを授業で実践した。 人文科学系列では、生徒主体の学校活動になるよう支援した。 <p>[生徒主体の学校活動を全員で支援し合う学び]</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県学校農業クラブ連盟各種発表県大会において、プロジェクト発表の部で2チーム、意見発表の部で3名の生徒が出場した。 <p>[様々な体験により、生徒が自分自身の特性に気づき、将来への道筋を選択していく学び]</p> <p>工業テクノロジー系列</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業テクノロジー系列以外の生徒に対し、総合選択の授業においてインフラの意義や防災の必要性を内容とする、社会基盤工学という教科を開講している。 実習を通して学校内に直接施工し、残せるような作品を作っている。 課題研究において、生徒からの発案で廃れたピオトープの再生を試みて、その復旧に取り組んでいる。 <p>[地域で何ができるのか、生徒自身が発見し、他者と協力し、実践し、発信する学び]</p> <p>地域探究部</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内系列や部活動などの各種団体と、近隣店舗に御協力を頂き、朝市「岳市楽座」を定期的に開催している。基本的には月に1回を目標にしている。部活動紹介や中庭全体を使った出店に実施。 環境科学研究部でコラボした地元企業由比岳詰所様との「みそっこツナちゃん」の販売の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の意見を聞き、自分の考えを他者に伝え、協働して課題に取り組んだ。具体的には、「世界の国調べ」「世界の国の諸問題」から、日本との関わりや、日本の問題点を調べ、発表し合った。 どの時間でも自分の考えを深め、他者に示すことを行った。 俳句を詠んでそれに合う写真に追加し、発表した。 ブラジル人講師による講演を行い、各自調べた質問をした。 <ul style="list-style-type: none"> 静岡県学校農業クラブ連盟各種発表県大会において、プロジェクト発表の部で2部門で優秀賞を受賞した。 <ul style="list-style-type: none"> 授業だけでなく、月に1回程度外部から講師を招き、建設業の魅力についてお話をいただいたり、現場見学を企画し、工業テクノロジー系列以外の生徒にも幅広く社会を知り、様々な産業により社会が成り立っていることを改めて認識させることを目指している。 3年生が卒業する前に、お世話になった学校に貢献する意味を込め、作品を作り残すことで、学校への帰属意識を高める。 自分たちの学校に見合う施設作りを考え、形にすることで、誰かに喜んでもらえるものを自分たちの手で作る楽しみを知る。 <ul style="list-style-type: none"> 校内の各種団体・地元企業・店舗・御近所にお住いの方々と生徒といった、学校と社会の懸け橋となれるよう、広報・集客や企画運営を行なう。地域からはおなじみのイベントとして知れ渡ってきた。今年度は、これまでの朝市に、生徒発信の様々なイベントを導入し、幅広く集客をし、今後も学校の良さを発信し、開かれた学校となり、地域に愛される学校を目指している。 地元企業様とのコラボで商品を完成させた経緯を後輩として受け継ぎ、新たな開発への意気込みを高めた。

<ul style="list-style-type: none"> ・生物生命系列SDGs特産物研究班では、アサヒ飲料とJAふじ伊豆と連携して茶かす堆肥を使った地元特産物（落花生）の試験栽培を実施。 ・生物生命系列では、生物活用の授業において、サツマイモのつる挿しでこども園と交流した。 ・生物生命系列植物コース3年の野菜の授業で東小学校の2年生と夏野菜の栽培について交流を行った。 ・生物生命系列3年次生が課題研究で富士宮の地産地消を目標とし、落花生、ヨモギを使用した商品開発を「朝霧高原もちや」と行った。 ・ボランティア部の「認知症マップの制作・地域普及活動」の取り組みが、浜松医科大学教授鈴木みずえ氏の著書「癒しのマップ 人と人がつなぐ認知症ケア」の「人と人をつなぐマップ地域での展開」の部に掲載された。マップ制作の様子や市民病院への贈呈、こども地域福祉系列との合同開催である認知症カフェでのPR活動の様子が4ページに渡り紹介されている。 ・7月に富士宮市立病院に認知症マップ15個を寄付する予定。 ・こども地域福祉系列が取り組む「地域寄り合い処」の活動に、富士宮市民生委員・児童委員協議会の約40名が参加し、交流を通して地域福祉の実践について意見を交換した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落花生栽培において、茶かすのエコ堆肥を利用した区画の方が収量増加がみられた。 (令和7年6月27日の日本農業新聞に掲載) ・生物生命系列では、生物活用の授業において、サツマイモのつる挿しでこども園と交流した。 ・生物生命系列での学びを活かし、小学生に動物のすばらしさを教え、安全な動物ふれあいができる技術を生かし、命の大切さをともに学ぶ。 ・生物生命系列3年次生が主体となりJAやもちやさんと地元農産物を利用した、商品の開発を通じて地元活性化を狙った活動をした。 ・令和4年度から継続している認知症マップの作成・普及活動は、令和6年度の「編み会」実施を通して市民ボランティアさんにつながり、地域の方との協働体制ができてきた。富士宮市立病院の認知症看護認定看護師の方を通じて、定期的に病院に寄付を続けており、寄付したマップは合計92個となった。7月の認知症カフェでのPR活動後に、富士宮市立病院への寄付が予定されている。 ・富士宮市民生委員児童委員協議会中部第一地区の40名が研修の一環で本校を訪れ、寄り合い処に参加する形で生徒と交流した。高校生は、対話を通して民生委員児童委員の地域における役割を学び、地域福祉貢献のために高校生ができることについて提言を受けるなど、実りの多い交流会となった。 ※令和7年6月7日岳南朝日新聞に掲載。 ※令和7年6月13日富士ニュースに掲載。
---	---

5 教職員について

(1) 異動状況

(単位:人)

区分	職名	本 務 職 員										臨 時 ・ 会 計 年 度 任 用 職 員						合 計					
		校 長	副 校 長	教 育 職 員	教 養 職 員	実 習 助 手	小 計	行 政 職 員	主 事	主 任	主 事	小 計	本 務	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師		部 活 動 指 導 員	非 常 勤 勞 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員	臨 時 等 計	
転出者				6		1	7				1		1	8	1							1	9
退職者			1	2		1	4						0	4	1	1	1	1	1	3	1	9	13
再任用 (退職)				2			2						0	2								0	2
転入者			1	5		1	7		1			1	8	2								2	10
新任者				2			2				1	1	3	1		1	1	1	2	0		6	9
再任用 (新任)				2			2					0	2									0	2
差引増減		0	0	0	△1	0	△1	△2	0	1	△1	1	1	△1	1	△1	0	0	0	△1	△1	△2	△3

(2) 現員数 (令和7年5月31日現在)

(単位:人)

区分	職名	本 務 職 員										臨 時 ・ 会 計 年 度 任 用 職 員						合 計				
		校 長	副 校 長	教 育 職 員	教 養 職 員	実 習 助 手	小 計	行 政 職 員	主 事	主 任	主 事	小 計	本 務	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師		部 活 動 指 導 員	非 常 勤 勞 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員	臨 時 等 計
男			1	1	35		37				1	1	38	2			4	1	7		14	52
女		1		13	1	1	16	1	2	1		4	20	1	1	3		1			6	26
計		1	1	1	48	1	53	1	2	1	1	5	58	3	0	1	7	1	8	0	20	78

※ (再掲) 再任用教諭: フルタイム 5人 (男5人・女0人)
週19時間25分 3人 (男2人・女1人)

(3) 健康管理について

<令和6年度>

- ・毎月職員安全衛生委員会を実施し、環境の改善や修繕を図った。
- ・健康管理DB・健康管理システムを活用して職員の健康状態を管理し、再検査・精密検査の必要がある者に対して早期受診を勧めた。
- ・既往症・現病歴で注意が必要な職員について、関係職員で情報共有を図った。

〈令和7年度〉

- ・毎月職員安全衛生委員会を実施し、環境の改善や修繕を図る。
- ・定期健康診断を完全受診し、再検査・精密検査の必要がある者に対して早期受診を勧める。
- ・心身状態が良好でない者に対して、管理医やスクールカウンセラー・臨床心理士と連携した対応を進める。既往歴・現病歴で注意が必要な職員について、関係職員で情報共有を図る。

(4) 教職員の研修について

	令和6年度	令和7年度
研修の目的	<p>① 令和4年度入学生から本格実施となった新学習指導要領に即した3観点での評価が適正に実施できるようにする。 (全学年実施となり、実践上の問題や課題などについての理解、それを踏まえた全教科での生徒への的確な評価、学習改善、授業改善をさらに進めるため。)</p> <p>② ICTを活用した授業改善 授業におけるICT活用がかなり定着してきている中で、より具体的な活用事例の共有と、その効果の検証をすることで、授業観および評価観の転換をさらに進める。</p>	<p>① 令和6年度に改めて設定されたスクールポリシーにおいて示された、育成したい資質・能力を意識した教育活動が適切に実施できるようにする。 (スクールポリシーの意味や意義を理解し、育成したい資質・能力を意識した授業づくりや系列の活動を促進するため。)</p> <p>② 探究的な学びの実現 本校の生徒のよさや課題から自走的な探究活動の必要性を職員で共有し、スクールポリシーを踏まえたカリキュラム・マネジメントを進める。</p>
研修の内容及び成果・課題	<p>(研修の内容)</p> <p>6月：授業参観週間 (各々の先生がICTを活用した授業を実践・参観する)</p> <p>10月：授業参観週間 (6月のICT活用授業の実践・参観を受け、ブラッシュアップした授業の自洗・参観を行う)</p> <p>10月：特別支援教育研修 (特別支援におけるICT活用も踏まえた講演を検討)</p> <p>1月：定期訪問「ICTを活用した授業改善」 (昨年度と同じテーマ。今回は評価へのICT活用における効果と課題について、実践した教諭の発表を企画予定)</p>	<p>(研修の内容)</p> <p>5月 ワークショップ型研修 (生徒の実態から必要な総合的な探究の時間での取り組みについて意見交換を行う)</p> <p>6月 授業参観週間 (スクールポリシーを意識した授業参観カードを使用した教員同士の授業参観)</p> <p>8月 民間コンサルによる研修 (地域社会から求められる人材像について卒業生と教員によるパネルディスカッション)</p> <p>10月 定期訪問 (スクールポリシーを意識した授業改善)</p> <p>11月 授業参観週間 (スクールポリシーを意識した授業参観カードを使用した教員同士の授業参観)</p> <p>1月 総合的な探究の時間に関する研修 (本校のこれからの総合的な探究の時間についての研修)</p>

6 防災対策について

	令和6年度	令和7年度
目的	<p>本校の防災組織についての再確認、教職員への周知を徹底する。場面に応じた実践的な防災訓練の実施を目指す。</p>	<p>本校の防災組織についての再確認、教職員への周知を徹底する。場面に応じた実践的な防災訓練の実施を目指す。</p>

内容及び成果・課題	<p>(1) 消防・防災計画、危機管理マニュアル等の更新を行った。</p> <p>(2) 防災・避難訓練等を3回実施し、生徒及び教員の災害対応能力を高めた。</p>	<p>(1) 消防計画・危機管理マニュアル・防災計画等の更新を行う。</p> <p>(2) 防災・避難訓練等を3回実施する予定。 ① 4月22日 ② 8月30日 ③ 12月20日</p> <p>(3) 9月の総合防災訓練及び12月の地域防災訓練について生徒・教職員ともに積極的な参加を促すための工夫が必要である。教職員に対して生徒が参加しやすい環境整備を依頼する。</p> <p>(4) 大地震等発生時に休校措置をとった際の、学校再開計画について詳細な検討を行う。</p>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月25日</td> <td>校内避難経路確認訓練実施(※1) 地区別で地区員等確認訓練実施</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>地震対応避難訓練実施(※2)</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>火災対応避難訓練実施(※3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】</p> <p>※1：基本的な行動・避難経路・避難場所・避難時のルールを理解できた。</p> <p>※2：緊急地震速報が発令された場合を想定し、落下物や倒壊の危険を予測した行動がとれるよう考えながら取り組めた。</p> <p>※3：避難訓練の際、実際に防火シャッターを下ろして普段は使用しない非常口等を利用し、生徒たちも緊急時を想定した避難ができた。</p> <p>(3) 10月に、地域防災連絡会議を本校で開催し、富士宮市の防災担当者・地域の防災担当者等を交えて、災害発生時の連携のあり方と役割分担についての協議を行った。</p> <p>(4) 10月に教職員・地域防災担当でマンホールトイレ設置訓練を行った。</p>	期日	内容	4月25日	校内避難経路確認訓練実施(※1) 地区別で地区員等確認訓練実施	8月29日	地震対応避難訓練実施(※2)	12月19日	火災対応避難訓練実施(※3)
期日	内容								
4月25日	校内避難経路確認訓練実施(※1) 地区別で地区員等確認訓練実施								
8月29日	地震対応避難訓練実施(※2)								
12月19日	火災対応避難訓練実施(※3)								

7 学校開放について

学校の施設設備を有効に活用し地域に開かれた学校となるため、学校教育活動に支障のない範囲で積極的に開放している。

	施設名	利用日数	延べ利用者数	利用者負担金(電気料)	利用種目
令和6年度	体育館、テニスコート	28日	247人	7,541円	バレーボール ソフトテニス
令和7年度 (5月31日現在)	テニスコート	3日	45人	89円	ソフトテニス

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条 第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第9条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校管理規則 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県公立高等学校就学支援金事務処理要領 いじめ防止対策推進法

□□□□□ □

学 校 施 設 の 概 要

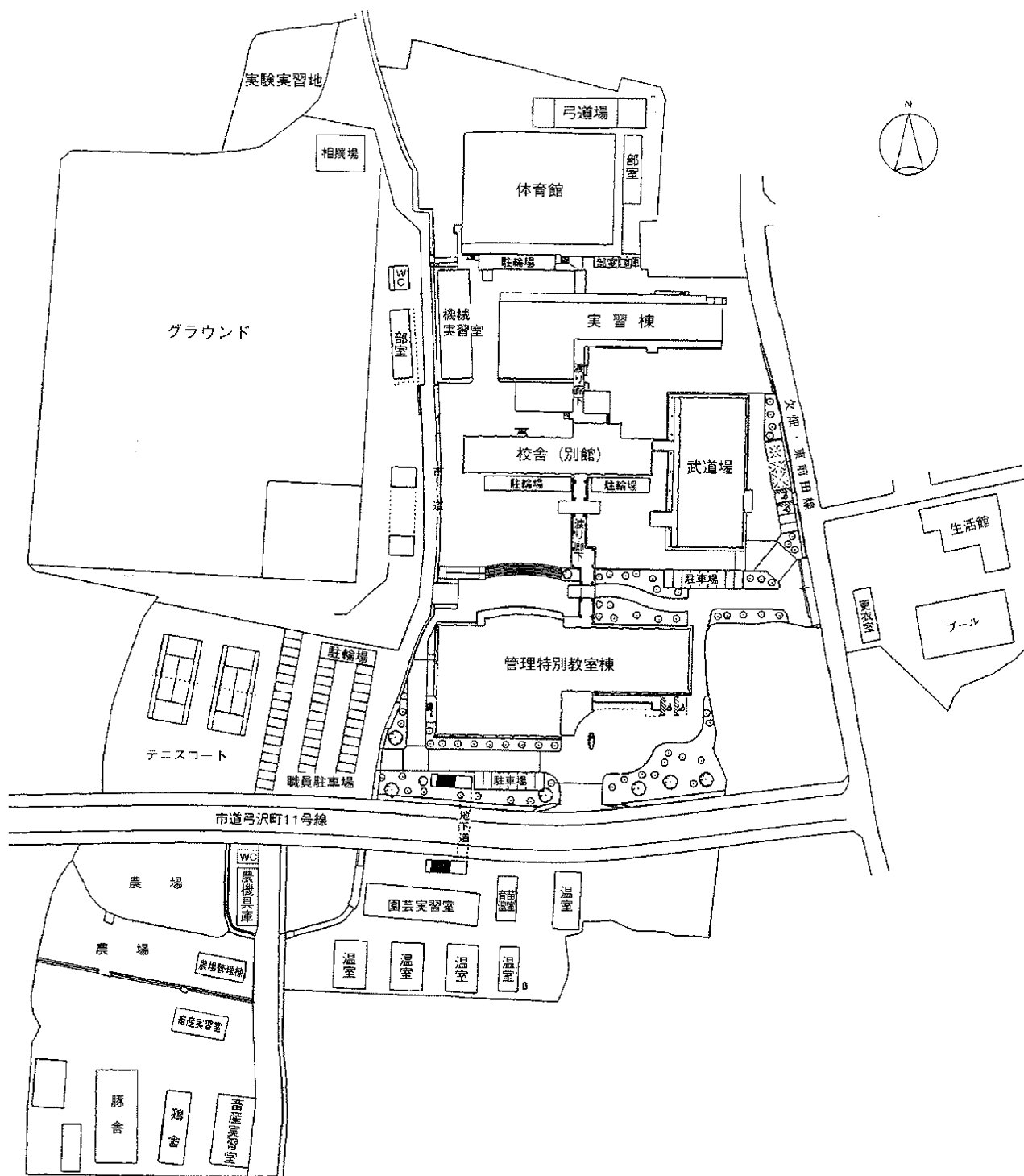
1 面積及び所有区分

(令和7年5月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	39,122.38	38,662.38				460.00	
内 訳	校 舎 敷 地	22,856.79	22,856.79				
	運 動 場 敷 地	15,074.36	15,074.36				
	そ の 他 の 敷 地	1,191.23	731.23			460.00	
実 習 地	4,573.08	4,439.84				133.24	
内 訳	畑	4,573.08	4,439.84			133.24	
校 舎	建 2,510.23	2,510.23					
	延 8,601.53	8,601.53					
体 育 館	建 1,539.18	1,539.18					
	延 1,783.16	1,783.16					
武 道 場	建 885.52	885.52					
	延 775.00	775.00					
そ の 他 の 建 物	建 3,082.94	2,958.31			124.63		
	延 4,030.73	3,914.84			115.89		
生 活 館	建 323.13				323.13		
	延 586.66				586.66		
プ ー ル	353.12	353.12					25m×14.125m 7コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	39,122.38㎡	8,601.53㎡	15,074.36㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

(令和7年5月31日現在)

年次生	学科別 区 分		総 合 学 科			
			定 員	男 子	女 子	計
1年	入 学 者		200	89	111	200
	増 ----- 減	加 ----- 少				0
		現 在			89	111
	入 学 者		200	86	117	203
2年	増 ----- 減	加 ----- 少			2	2
		2 年 時 当 初			86	115
	増 ----- 減	加 ----- 少				
		現 在			86	115
	入 学 者		200	92	112	204
3年	増 ----- 減	加 ----- 少		1	1	2
		2 年 時 当 初			91	111
	増 ----- 減	加 ----- 少				
		3 年 時 当 初			90	104
	増 ----- 減	加 ----- 少				
		現 在			90	104
	合 計		600	265	330	595

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		総合学科	総合学科	総合学科	総合学科	総合学科
生徒定員 (A)		200	200	200	200	200
募集者数(B)		200	200	200	200	200
志願者数	男	90(0)	109(0)	99(0)	93(0)	89(0)
	女	133(0)	113(0)	118(0)	126(0)	111(0)
	計(C)	223(0)	222(0)	217(0)	219(0)	200(0)
受検者数	男	89(0)	109(0)	99(0)	93(0)	89(0)
	女	132(0)	112(0)	118(0)	125(0)	111(0)
	計(D)	221(0)	221(0)	217(0)	218(0)	200(0)
合格者数	男	82(0)	101(0)	93(0)	86(0)	89(0)
	女	123(0)	104(0)	112(0)	117(0)	111(0)
	計(E)	205(0)	205(0)	205(0)	203(0)	200(0)
志願倍率(C)/(B)		1.12	1.11	1.09	1.10	1
受検倍率(D)/(B)		1.11	1.11	1.09	1.09	1
入学者数	男	82	101	92	86	89
	女	123	104	112	117	111
	計(F)	205	205	204	203	200
充足率(F)/(A)		1.03	1.03	1.02	1.02	1.00

□□□□□ □

卒業生の動向調

1 進路状況

学科別		総合学科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒業生徒数		232	193	193	
内	(進学志願者)	(145)	(106)	(137)	
	進 学 者	大学・短大	44	48	50
		専修・各種学校等	99	74	78
	小 計		143	122	128
訳	就 職 者	87	71	54	
	自 営 者	0	0	0	
	進 学 準 備 者	2	0	0	
	そ の 他	0	0	2	
合 計		232	193	193	

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就 職 希 望 者 数	87	71	55
求 人 数	415	522	560
求 人 倍 率	4.77	7.35	10.18

3 資格取得状況

(令和6年度) (単位:人)

学 科 別		総合学科
卒 業 生 徒 数		193
資格の取得状況 (種類別)	日商 簿記能力検定 2級	2
	日商 簿記能力検定 3級	7
	全商 ビジネス文書検定 1級	17
	全商 ビジネス文書検定 (速度部門) 1級	4
	全商 ビジネス文書検定 2級	28
	全商 ビジネス文書検定 (速度部門) 2級	16
	全商 ビジネス文書検定 3級	40
	全商 ビジネス文書検定 (文書部門) 3級	4
	全商 ビジネス計算検定 1級	6
	全商 ビジネス計算検定 (普通計算部門) 1級	8
	全商 ビジネス計算検定 2級	25
	全商 ビジネス計算検定 (普通計算部門) 2級	31
	全商 簿記検定 1級	7
	全商 簿記検定 2級	22
	全商 情報処理検定 (ビジネス情報部門) 1級	3
	全商 情報処理検定 2級	30
	全商 情報処理検定 3級	40
	全商 商業経済検定 1級	7
	全商 商業経済検定 2級	29
	全商 商業経済検定 3級	34
	全経 簿記能力検定 3級	46
	日検 情報処理技能検定 (表計算) 1級	28
	日検 情報処理技能検定 (表計算) 3級	4
	日検 日本語ワープロ検定 1級	3
	日検 日本語ワープロ検定 2級	4
	日検 日本語ワープロ検定 3級	24
	日検 文書デザイン検定 1級	6
	文章入力スピード認定試験 (日本語) 初段	3
	文章入力スピード認定試験 (日本語) 1級	2
	文章入力スピード認定試験 (日本語) 準2級	6
	文章入力スピード認定試験 (日本語) 3級	15
	日漢 漢字能力検定 2級	5
	日漢 漢字能力検定 準2級	22
	日漢 漢字能力検定 3級	26
	日英 実用英語技能検定 2級	3
	日英 実用英語技能検定 準2級	19
	日英 実用英語技能検定 3級	1
	危険物取扱者試験 丙種	9
	小型フォークリフト(1t未満)	8
	小型移動式クレーン運転	1
全工協 計算技術検定 3級	47	
基礎製図検定	9	
技能検定 機械検査作業 3級	2	
色彩検定 UC級	3	
色彩検定 3級	4	
秘書技能検定 3級	15	

食生活アドバイザー検定	基礎級	33
日本農業技術検定	3級	26
FFJ検定	初級	31
裏千家茶道	初級許状	3
合 計		768

□□□□□ □

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年5月31日現在) (単位：人)

市町名	富士宮市	富士市	静岡市	その他	合計
生徒数	346	239	6	4	595
構成比%	58.2%	40.2%	1.0%	0.6%	100%

(2) 通学方法 (令和7年5月31日現在) (単位：人)

区分	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
生徒数	46	318	29	143	59	595
構成比%	7.7%	53.5%	4.9%	24.0%	9.9%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年5月31日現在) (単位：人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		13	13		26
部 生 徒 数	男子	147	118	0	265
	構成比	55.5%	44.5%	0%	100%
	女子	111	219	0	330
	構成比	33.6%	66.4%	0%	100%
	計	258	337	0	595
	構成比	43.4%	56.6%	0%	100%

□□□□□ □

授 業 料 収 納 状 況 調

(単位制の全日制)

(令和6年度)

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
		1 年		2 年		3 年		計		納期内取納額	納期後	収 入		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	率	円		円
前 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A.期首取納権利発生額= 3,286,800 円 4~6月分 (1年 17人×9,900円×3月) (2年 26人×9,900円×3月) (3年 12人×9,900円×3月) 7~9月分 (1年 22人×9,900円×3月) (2年 20人×9,900円×3月) (2年 2人×9,900円×1月) (3年 14人×9,900円×3月) B.取納権利増減(▲)額= ▲29,700 円 <内訳> 就学支援金遡及認定 ▲1 1年次生:1人 1人×9,900円×3月 C.取納必要額A(±)B= 3,257,100 円
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10	23 1	1,128,600 29,700	29	1,386,000	14	742,500	67	3,286,800	3,108,600	94.6		178,200	
	11	▲1	▲29,700					▲1	▲29,700		0.0	178,200	0	
	計	23	1,128,600	29	1,386,000	14	742,500	66	3,257,100	3,108,600	95.4	178,200	0	
	後 期	10												
11														
12														
1		21	1,247,400	20	1,188,000	13	772,200	54	3,207,600	3,088,800	96.3		118,800	
2												118,800	0	
3														
計		21	1,247,400	20	1,188,000	13	772,200	54	3,207,600	3,088,800	96.3	118,800	0	
合 計	44	2,376,000	49	2,574,000	27	1,514,700	120	6,464,700	6,197,400	95.9	297,000	0	D.取納必要額= 6,464,700 円	

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	71,987,620	71,666,620	321,000
項 01使用料	70,814,570	70,493,570	321,000
目 09教育使用料	70,814,570	70,493,570	321,000
02全日制高等学校授業料	70,656,300	70,359,300	297,000
08庁舎等使用料	158,270	134,270	24,000
項 02手数料	1,173,050	1,173,050	0
目 07教育手数料	1,173,050	1,173,050	0
01高等学校入学料	1,146,950	1,146,950	0
02証明書発行手数料	26,100	26,100	0
款 10財産収入	3,152,770	3,152,770	0
項 01財産運用収入	1,361,400	1,361,400	0
目 01財産貸付収入	1,361,400	1,361,400	0
02土地貸付料	1,038,000	1,038,000	0
03建物貸付料	323,400	323,400	0
項 02財産売払収入	1,791,370	1,791,370	0
目 03生産物売払収入	1,791,370	1,791,370	0
07学校生産物売払収入	1,791,370	1,791,370	0
款 14諸収入	1,133,868	1,133,868	0
項 07雑入	1,133,868	1,133,868	0
目 02雑入	1,133,868	1,133,868	0
87保険料負担金	774,973	774,973	0
保険料負担金	556,726	556,726	0
非常勤職員	218,247	218,247	0
90雑収	358,895	358,895	0
雑収	347,615	347,615	0
古新聞・雑誌	11,280	11,280	0

□□□□□

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
計	76,274,258	75,953,258	321,000

(令和 6年度)

不納欠損額 D	収 入 未 済 額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 99.5

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	1,293,300	1,266,300	27,000
項 01使用料	160,000	133,000	27,000
目 10教育使用料	160,000	133,000	27,000
08庁舎等使用料	160,000	133,000	27,000
項 02手数料	1,133,300	1,133,300	0
目 09教育手数料	1,133,300	1,133,300	0
01高等学校入学科	1,130,000	1,130,000	0
02証明書発行手数料	3,300	3,300	0
款 10財産収入	1,589,035	1,589,035	0
項 01財産運用収入	1,361,400	1,361,400	0
目 01財産貸付収入	1,361,400	1,361,400	0
02土地貸付料	1,038,000	1,038,000	0
03建物貸付料	323,400	323,400	0
項 02財産売払収入	227,635	227,635	0
目 03生産物売払収入	227,635	227,635	0
07学校生産物売払収入	227,635	227,635	0
款 14諸収入	103,301	103,301	0
項 07雑入	103,301	103,301	0
目 02雑入	103,301	103,301	0
90保険料負担金	66,013	66,013	0
保険料負担金	36,709	36,709	0
非常勤職員	29,304	29,304	0
93雑収	37,288	37,288	0
計	2,985,636	2,958,636	27,000

執 行 状 況 調

(令和 7年度)
(令和 7年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			計	収 入 歩 合	納 期 内 収 入 率
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		$\frac{B+C}{A-D-F}$	$\frac{B}{A-D-F}$
円	円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	0	100.0	97.9
0	0	0	0	0	100.0	83.1
0	0	0	0	0	100.0	83.1
0	0	0	0	0	100.0	83.1
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	99.0

□□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年5月31日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	192	0

□□□□□□

現 金 出 納 調

富橋館高等学校

(令和6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	0	1,173,050	1,173,050	1,173,050	0	1,173,050 277 枚	1,173,050 68 枚
生産物売却収入	0	1,509,890	1,509,890	1,509,890	0	1,509,890 3,610 枚	1,509,890 154 枚
雑入	0	8,770	8,770	8,770	0	8,770 3 枚	8,770 3 枚
計	0	2,691,710	2,691,710	2,691,710	0	2,691,710 3,890 枚	2,691,710 225 枚

□□□□□□

現 金 出 納 調

富橋館高等学校

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	0	1,133,300	1,133,300	1,133,300	0	1,133,300 210 枚	1,133,300 10 枚
生産物売却収入	0	202,300	202,300	202,300	0	202,300 451 枚	202,300 30 枚
計	0	1,335,600	1,335,600	1,335,600	0	1,335,600 661 枚	1,335,600 40 枚

□□□□□□

保管現金有高調

(令和7年5月31日現在)

現金保管者	区分	金額 (円)
静岡県立富岳館高等学校出納員	令和7年5月30日現金領収分	1,750

□□□□□□

預 金 調

(令和7年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 富士宮支店	無利息型 普通預金	230149	静岡県立富岳館高等学校 資金前渡者 神田 明葉	0	職員給与用
スルガ銀行 富士宮支店	無利息型 普通預金	395369	自振口 富岳館高等学校 神田 明葉	0	電気料、水道料、電話 料、社会保険料等の口 座振替用
残 高 合 計				0	

□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年5月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵 券	110円券	0	0	4	440	4	440	0	0	0	0	0	0	0	0	書類等 送付用
計			0		440		440		0		0		0		0	

□□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和7年5月31日現在)

区 分	令和6年度						令和7年度						摘 要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
夏みかん	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	50	10,000	50	10,000	0	0	50	10,000	0	0	50	10,000	
ビタミンC	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	0.5	1,620	0.5	1,620	0	0	0.5	1,620	0	0	0.5	1,620	
クエン酸	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	1	1,728	1	1,728	0	0	1	1,728	0	0	1	1,728	
ペクチン	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	1	8,100	1	8,100	0	0	0.5	7,020	0	0	0.5	7,020	
いちご	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	50	17,500	50	17,500	0	0	50	17,500	0	0	50	17,500	
グラニュー糖	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	60	15,681	60	15,681	0	0	60	15,681	0	0	60	15,681	
ビン・蓋セット	個		個		個		個		個		個		個		
	0	0	660	52,998	540	43,362	120	9,636	480	38,544	0	0	600	48,180	
並塩	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	50	4,968	50	4,968	0	0	0	0	0	0	0	0	
米味噌こうじ	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	0.2	3,022	0.2	3,022	0	0	0	0	0	0	0	0	
精米	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	80	38,880	80	38,880	0	0	0	0	0	0	0	0	
大豆	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	110	51,084	110	51,084	0	0	0	0	0	0	0	0	
樽・蓋	個		個		個		個		個		個		個		
	0	0	400	46,200	400	46,200	0	0	0	0	0	0	0	0	
ラベル	枚		枚		枚		枚		枚		枚		枚		
	670	16,214	0	0	330	7,986	340	8,228	0	0	0	0	340	8,228	
袋	枚		枚		枚		枚		枚		枚		枚		
	0	0	1,000	2,420	1000	2,420	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	670	16,214	2,463	254,201	2,673	252,551	460	17,864	642	92,093	0	0	1,102	109,957	

□□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 富岳館高校

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 650,709	円 650,709	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	53,423	53,423	0	
所得税	25,498	1,002,890	998,087	30,301	
保証金	980,300	0	844,100	136,200	
計	1,005,798	1,707,022	2,546,319	166,501	

□□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 富岳館高校

(令和 7年度)

(令和 7年 5月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 90,104	円 90,104	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	8,411	8,411	0	
所得税	30,301	98,782	92,417	36,666	
保証金	136,200	0	0	136,200	
計	166,501	197,297	190,932	172,866	

□□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	6,000	6,000	0	
項 01 経営管理費	6,000	6,000	0	
目 05 資産経営費	6,000	6,000	0	
10 需用費	6,000	6,000	0	
01 その他の需用費	6,000	6,000	0	
款 11 教育費	136,044,778	136,044,778	0	
項 02 教育委員会費	7,249,721	7,249,721	0	
目 02 教育総務費	611,895	611,895	0	
01 報酬	19,665	19,665	0	
03 非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
07 報償費	541,376	541,376	0	
01 その他の報償費	541,376	541,376	0	
08 旅費	0	0	0	
01 その他の旅費	0	0	0	
10 需用費	7,954	7,954	0	
01 その他の需用費	7,954	7,954	0	
11 役務費	42,900	42,900	0	
目 03 教育管理費	6,517,826	6,517,826	0	
08 旅費	826	826	0	
02 普通旅費	826	826	0	
10 需用費	3,377,200	3,377,200	0	
01 その他の需用費	3,377,200	3,377,200	0	
11 役務費	200,200	200,200	0	
13 使用料及び賃借料	747,600	747,600	0	
14 工事請負費	2,189,000	2,189,000	0	
18 負担金、補助及び交付金	3,000	3,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	

□□□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	124,497,056	124,497,056	0	
目 01 高等学校総務費	27,992,940	27,992,940	0	
01 報酬	15,877,058	15,877,058	0	
03 非常勤職員報酬	15,877,058	15,877,058	0	
03 職員手当等	7,333,595	7,333,595	0	
01 その他の職員手当等	7,333,595	7,333,595	0	
04 共済費	3,789,721	3,789,721	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,789,721	3,789,721	0	
08 旅費	992,566	992,566	0	
01 その他の旅費	760,563	760,563	0	
02 普通旅費	232,003	232,003	0	
目 02 高等学校管理費	96,504,116	96,504,116	0	
01 報酬	1,193,840	1,193,840	0	
03 非常勤職員報酬	1,193,840	1,193,840	0	
04 共済費	467	467	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	467	467	0	
07 報償費	151,800	151,800	0	
01 その他の報償費	151,800	151,800	0	
08 旅費	2,931,123	2,931,123	0	
01 その他の旅費	88,090	88,090	0	
02 普通旅費	2,843,033	2,843,033	0	
10 需用費	13,474,112	13,474,112	0	
01 その他の需用費	13,474,112	13,474,112	0	
11 役務費	1,383,403	1,383,403	0	
12 委託料	2,398,000	2,398,000	0	
13 使用料及び賃借料	349,870	349,870	0	
15 原材料費	254,201	254,201	0	

□□□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
17 備品購入費	2,159,850	2,159,850	0	
18 負担金、補助及び交付金	64,217,550	64,217,550	0	
19 扶助費	7,847,600	7,847,600	0	
26 公課費	142,300	142,300	0	
項 08 学校教育費	4,298,001	4,298,001	0	
目 01 高校教育費	3,141,744	3,141,744	0	
01 報酬	2,214,545	2,214,545	0	
03 非常勤職員報酬	2,214,545	2,214,545	0	
04 共済費	459,446	459,446	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	459,446	459,446	0	
07 報償費	210,000	210,000	0	
01 その他の報償費	210,000	210,000	0	
08 旅費	31,099	31,099	0	
01 その他の旅費	26,563	26,563	0	
02 普通旅費	4,536	4,536	0	
10 需用費	61,114	61,114	0	
01 その他の需用費	61,114	61,114	0	
11 役務費	0	0	0	
13 使用料及び賃借料	165,540	165,540	0	
目 04 健康体育費	1,156,257	1,156,257	0	
01 報酬	686,000	686,000	0	
03 非常勤職員報酬	686,000	686,000	0	
04 共済費	2,262	2,262	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,262	2,262	0	
07 報償費	126,900	126,900	0	
01 その他の報償費	126,900	126,900	0	
08 旅費	30,015	30,015	0	
01 その他の旅費	30,015	30,015	0	

□□□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
11 役務費	円 311,080	円 311,080	円 0	
計	136,050,778	136,050,778	0	

□□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12 教育費	102,225,317	4,581,768	97,643,549	
項 02 教育委員会費	2,760,800	883,500	1,877,300	
目 03 教育管理費	2,640,800	883,500	1,757,300	
10 需用費	1,853,000	95,700	1,757,300	
01 その他の需用費	1,853,000	95,700	1,757,300	
13 使用料及び賃借料	787,800	787,800	0	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05 高等学校費	93,887,517	3,028,268	90,859,249	
目 01 高等学校総務費	17,176,000	1,495,270	15,680,730	
01 報酬	12,731,000	1,266,336	11,464,664	
03 非常勤職員報酬	12,731,000	1,266,336	11,464,664	
04 共済費	3,782,000	0	3,782,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,782,000	0	3,782,000	
08 旅費	663,000	228,934	434,066	
01 その他の旅費	496,000	62,204	433,796	
02 普通旅費	167,000	166,730	270	
目 02 高等学校管理費	76,711,517	1,532,998	75,178,519	
01 報酬	212,000	0	212,000	
03 非常勤職員報酬	212,000	0	212,000	
04 共済費	3,000	0	3,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07 報償費	190,000	0	190,000	
01 その他の報償費	190,000	0	190,000	
08 旅費	1,253,440	65,360	1,188,080	
01 その他の旅費	103,440	1,270	102,170	
02 普通旅費	1,150,000	64,090	1,085,910	

□□□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
10 需用費	5,482,077	1,056,630	4,425,447	
01 その他の需用費	5,482,077	1,056,630	4,425,447	
11 役務費	1,058,000	12,150	1,045,850	
12 委託料	2,702,000	193,875	2,508,125	
13 使用料及び賃借料	1,192,000	173,115	1,018,885	
15 原材料費	250,000	27,868	222,132	
18 負担金、補助及び交付金	64,226,000	4,000	64,222,000	
26 公課費	143,000	0	143,000	
項 08 学校教育費	5,577,000	670,000	4,907,000	
目 01 高校教育費	5,157,000	670,000	4,487,000	
01 報酬	4,140,000	670,000	3,470,000	
03 非常勤職員報酬	4,140,000	670,000	3,470,000	
04 共済費	763,000	0	763,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	763,000	0	763,000	
07 報償費	180,000	0	180,000	
01 その他の報償費	180,000	0	180,000	
08 旅費	74,000	0	74,000	
01 その他の旅費	74,000	0	74,000	
目 04 健康体育費	420,000	0	420,000	
07 報償費	90,000	0	90,000	
01 その他の報償費	90,000	0	90,000	
11 役務費	330,000	0	330,000	
計	102,225,317	4,581,768	97,643,549	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,398,000	
計					5,775,110	2,398,000	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		2,189,000	
計					6,435,000	2,189,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,159,850	
計					0	2,159,850	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,000	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		64,217,550	
計					65,315,300	64,220,550	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	193,875	
計					193,875	0
(14) 工事請負費					0	
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	
計					0	0
(17) 備品購入費					0	
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	4,000	
計					4,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	
計					0	0

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変更増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	自家用電気工作物 保安管理業務	加藤電気管理事務所 加藤一彦	1,482,800	1,482,800	156,200	1,639,000
2	畜舎排水設備維持管理業務	(有)石川メンテナンス	188,100	184,800	0	184,800
3	エレベーター保守点検業務	ジャパンエレベーター サービス神奈川 (株)	343,200	303,600	0	303,600
4	産業廃棄物の収集・運搬・処 分業務	(株)クリーンコント ロールサービス	90,200	90,200	0	90,200
5	産業廃棄物の収集・運搬・処 分業務	(株)クリーンコント ロールサービス	90,200	90,200	0	90,200
6	産業廃棄物の収集・運搬・処 分業務	(株)クリーンコント ロールサービス	90,200	90,200	0	90,200
	事務関係計	6件		2,241,800	156,200	2,398,000

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.27	110,000	保安規定による自家用電気工作物保安業務市内4校分一括契約	富士宮北高校 富士宮東高校 富士宮西高校
		6.6.25	110,000		
		6.7.25	110,000		
		6.8.26	119,900		
		6.9.25	282,700		
		6.10.25	119,900		
		6.11.25	119,900		
		6.12.25	128,700		
		7.1.27	128,700		
		7.2.25	136,400		
		7.3.25	136,400		
		7.4.30	136,400		
		小計	1,639,000		
随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.27	23,100	排水設備維持管理業務	随契1号 (少額)
		6.6.25	7,700		
		6.7.25	23,100		
		6.8.26	7,700		
		6.9.25	23,100		
		6.10.25	7,700		
		6.11.25	23,100		
		6.12.25	7,700		
		7.1.27	23,100		
		7.2.25	7,700		
		7.3.25	23,100		
		7.4.30	7,700		
		小計	184,800		
随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.27	23,375	エレベーター保守点検業務	随契1号 (少額)
		6.6.25	23,375		
		6.7.25	23,375		
		6.8.26	23,375		
		6.9.25	23,375		
		6.10.25	23,375		
		6.11.25	23,375		
		6.12.25	46,475		
		7.1.27	23,375		
		7.2.27	23,375		
		7.3.25	23,375		
		7.4.30	23,375		
		小計	303,600		
随契	6.7.9 ～ 6.10.31	6.9.20	90,200	産業廃棄物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)
随契	6.10.8 ～ 6.12.27	6.12.16	90,200	産業廃棄物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)
随契	7.2.18 ～ 7.3.31	7.4.30	90,200	産業廃棄物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)
			2,398,000		

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変更増減額	計
参考 1	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス	円	円 207,900	円 0	円 207,900
参考 2	浄化槽保守点検業務	(有)石川メンテナンス		590,700	0	590,700
参考 3	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡総合処理センター		運搬料 4,400円/回 処分料 15円/kg	0	運搬料 4,400円/回 処分料 15円/kg
参考 4	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)		13,376,000	4,400	13,380,400
参考 5	警備業務	セコム(株)		5,808,000	839,190	6,647,190
参考 6	警備業務	セコム(株)		17,424,000	0	17,424,000
参考 7	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡		1,279,300	0	1,279,300
参考 8	建築基準法12条に基づく定期 点検業務	(株)平柳建築設計事務所		3,263,700	0	3,263,700
	計	8件				

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	6.4.12 ～ 6.10.31		円	プール浄化装置保守点検業務	富士東高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			浄化槽保守点検業務	富士宮西高校
	6.4.8 ～ 7.3.31			一般可燃物収集運搬処分業務	富士宮西高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			消防用設備等保守点検	富士宮東高校
	元.10.1 ～ 6.9.30			学校機械警備業務	富士高校 R1長期
	6.10.1 ～ 11.9.30			学校機械警備業務	富士高校 R6長期
	6.6.3 ～ 6.8.26			ガスヒートポンプ装置の点検業務	富士宮北高校
	6.8.15 ～ 7.2.28			建築基準法12条による建物点検業務	富士東高校

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変更増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	自家用電気工作物 保安管理業務	加藤電気管理事務所 加藤一彦	1,916,200	1,916,200	0	1,916,200
2	畜舎排水設備維持管理業務	(有)石川メンテナンス	211,200	204,600	0	204,600
3	エレベーター保守点検業務	ジャパンエレベーターサービス神奈川 (株)	343,200	303,600	0	303,600
	事務関係計	3件		2,424,400	0	2,424,400
参考 1	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス	/	227,700	0	227,700
参考 2	浄化槽保守点検業務	(有)石川メンテナンス	/	618,200	0	618,200
参考 3	可燃物収集運搬処分業務	(有)東亜美装	/	運搬料 4,345円/回 処分料 15円/kg	0	運搬料 4,345円/回 処分料 15円/kg
参考 4	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)	/	13,246,200	0	13,246,200
参考 5	警備業務	セコム(株)	/	17,424,000	0	17,424,000
参考 6	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡	/	1,320,000	0	1,320,000
	計	6件				

関 する 調

(令和7年度)
(令和7年5月31日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 小計	円 145,200 145,200	保安規定による自家用電気工作物保安業務市内4校分一括契約	富士宮北高校 富士宮東高校 富士宮西高校
随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 小計	25,300 25,300	排水設備維持管理業務	随契1号 (少額)
随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 小計	23,375 23,375	エレベーター保守点検業務	随契1号 (少額)
			193,875		
	7.4.15 ～ 7.10.31			プール浄化装置保守点検業務	富士東高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			浄化槽保守点検業務	富士宮西高校
	7.4.8 ～ 8.3.31			一般可燃物収集運搬処分業務	富士宮西高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			消防用設備等保守点検	富士宮東高校
	6.10.1 ～ 11.9.30			学校機械警備業務	富士高校 R6長期
	7.5.22 ～ 7.8.29			ガスヒートポンプ装置の点検業務	富士宮北高校

□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	大会参加費	円 4,000	6.5.1
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	大会参加費	2,000	6.7.26
3	木材加工用機械作業主任者技能講習受講料	林材業労災防止協会静岡県支部	開催通知	講習受講料	15,950	6.9.27
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 期分 598名分)	(前) 高等学校等就学支援金支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	32,165,100	6.10.31
5	全国学校保健・安全研究大会参加費	全国学校保健・安全研究大会	開催通知	大会参加費	3,000	6.10.17
6	関東甲信静数学教育研究長野大会参加費	長野県算数数学教育研究会	開催通知	大会参加費	4,000	6.10.28
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (7～9月分 1名分)	高等学校等就学支援金支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.11.21
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 期分 594名分)	(後) 高等学校等就学支援金支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	32,046,300	7.1.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (2～3月分 3名分)	高等学校等就学支援金支給に関する法律	転退学した生徒の授業料を戻入する	▲ 49,500	7.2.28
計		9件	/	/	64,220,550	/

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	大会参加費	円 4,000	7.5.12
計		2件	/	/	4,000	/

余 白

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予 算 目 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 設 計 金 額 初 額	契 約 金 額		
					当 初 額	変 更 増 減 額	計
				円	円	円	円
1	教 育 管 理 費	令和6年度静岡県立富岳館高等学校プールろ過ポンプ・集毛器更新工事	富士宮市 弓沢町地内	1,760,000	1,760,000	429,000	2,189,000
		合 計	件 1	1,760,000	1,760,000	429,000	2,189,000
参考 1	教 育 管 理 費	令和6年度 [第36-Z2438-01号]富岳館高等学校体育館兼講堂消火配管更新工事	富士宮市 弓沢町地内	6,831,000	6,820,000	44,000	6,864,000
参考 2	教 育 管 理 費	令和6年度 [第36-Z2402-01号]富岳館高等学校トイレ洋式化他工事	富士宮市 弓沢町地内	22,759,000	21,169,000	31,000	21,200,000
参考 3	教 育 管 理 費	令和6年度 [第36-Z0410-01号]富岳館高等学校倉庫（豚舎）ほか解体工事	富士宮市 弓沢町地内	7,711,000	6,820,000	▲ 1,309,000	5,511,000

整理 番号	予 算 目 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 設 計 金 額 初 額	契 約 金 額		
					当 初 額	変 更 増 減 額	計
				円	円	円	円
参考 1	教 育 管 理 費	令和6年度 [第36-Z0410-01号]富岳館高等学校倉庫（豚舎）ほか解体工事	富士宮市 弓沢町地内	7,711,000	6,820,000	▲ 1,309,000	5,511,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
随契	(株)仲神設備	着手 6.11.22 完成 7.2.28	円 2,189,000	プールろ過ポンプ1基、集毛器1個交換	—	令達年月日 6.10.28 支払年月日 7.3.31 随契1号(少額)
			2,189,000			
指名	(株)仲神設備	着手 6.11.14 完成 7.3.14	6,864,000	トイレ(21基)洋式化 設置場所:管理特別教室棟 (4階建て) 各階男女トイレ 上記に係る機械設備工事一式	—	令達年月日 6.10.7 支払年月日 7.4.30 本庁経理 建築企画課
指名	(株)遠藤管工設備	着手 6.9.26 完成 7.3.21	21,200,000	体育館兼講堂消火配管の更新 消火用炭素鋼鋼管(白)75m更新 消火・塩ビ被覆鋼管(SGP-VS)45m更新 上記に係る機械設備工事一式	—	令達年月日 6.4.17 支払年月日 7.4.25 本庁経理 建築企画課
指名	(株)丸芳	着手 6.11.28 完成 7.5.30	2,720,000	倉庫(豚舎)、畜舎污水处理施設(2棟)、工作物の解体工事 牛用柵、側溝の新設工事	予	令達年月日 6.10.23 支払年月日 6.12.9 本庁経理 富士土木事務所 R6繰越

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
指名	(株)丸芳	着手 6.11.28 完成 7.5.30	円 2,791,000	倉庫(豚舎)、畜舎污水处理施設(2棟)、工作物の解体工事 牛用柵、側溝の新設工事	予	令達年月日 7.4.14 支払年月日 7.6.30 本庁経理 富士土木事務所 R6繰越

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台 帳 価 格	数 量 又 は 面 積	台 帳 価 格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行政財産	/	千円 3,134,515	/	千円 288	/	千円 49,845	/	千円 3,084,958	
土 地	m ² 43,102.22	2,278,123	m ²		m ²		m ² 43,102.22	2,278,123	
立 木 竹	本 28	755	本		本 1	18	本 27	737	
建 物	m ² 7,893.24 15,074.53	774,473	m ² —		m ² 175.50 175.50	45,000	m ² 7,717.74 14,899.03	729,473	
工 作 物	個 155	81,164	個 2	288	個	4,827	個 157	76,625	
普通財産	/	千円	/	千円 0	/	千円	/	千円 0	
建 物	m ² —		m ² 175.50 175.50	0	m ² —		m ² 175.50 175.50	0	
公有財産に 準ずるもの	/	140	/		/		/	140	
電 話 加 入 権	件 5	140	件		件		件 5	140	

令和7年度中増減なし

□□□□□

借地借家等調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は面積	借料		契 約 期 間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	富士宮市弓沢町430-1	雑種地	駐車場	m ² 460.00	円	円 587,700	7.4.1) 8.3.31	個人	その他敷地
2	土地	学校敷地	富士宮市弓沢町430-3	雑種地	実習用地	m ² 133.24		200,100	7.4.1) 8.3.31	個人	その他敷地
	計					m ² 593.24		787,800			
3	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町732	普通河川	橋梁	m ² 7.42	無償	無償	5.4.1) 8.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
4	土地	道路敷地	富士宮市弓沢町737	道路敷地	道路敷地	m 79.05	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	富士宮市長	下水道管 設置 (占用許可)
5	土地	道路敷地	富士宮市弓沢町710	道路敷地	道路敷地	m ² 41.44	無償	無償	4.4.1) 9.3.31	富士宮市長	地下道 (占用許可)
6	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町710	普通河川	橋梁	m ² 18.35	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
7	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町737	普通河川	普通河川	m 1.18	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	電気 ケーブル (占用許可)
8	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町737	普通河川	普通河川	m 1.18	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	電気 ケーブル (占用許可)
9	土地	道路敷地	富士宮市弓沢町737	道路敷地	道路敷地	m 3.52	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	電気 ケーブル (占用許可)
10	土地	道路敷地	富士宮市弓沢町737	道路敷地	道路敷地	m 3.52	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	電気 ケーブル (占用許可)
11	土地	道路敷地	富士宮市弓沢町732地先	道路敷地	道路敷地	m 17.00	無償	無償	7.4.1) 10.3.31	富士宮市長	光ファイバー ケーブル (占用許可)
12	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町433地先	普通河川	橋梁	m ² 12.78	無償	無償	6.4.1) 9.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
13	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町433地先	普通河川	橋梁	m ² 27.48	無償	無償	6.4.1) 9.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
14	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町732地先	普通河川	橋梁	m ² 10.80	無償	無償	6.4.1) 9.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
15	土地	河川敷地	富士宮市弓沢町433	普通河川	橋梁	m ² 4.03	無償	無償	6.4.1) 9.3.31	富士宮市長	通行路 (占用許可)
	計					m ² 122.30 m 105.45		0			

□□□□□

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は面積	借 料		契 約 期 間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
16	建物	雑屋 建	富士宮市弓沢町732		R C造 平屋建	m ² 75.40 75.40	無償	無償	3.4.1) 8.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	部 室
17	建物	事務 所建	富士宮市弓沢町732		R C造 2階建	m ² 323.13 586.66	無償	無償	3.4.1) 8.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	生活館
18	建物	雑屋 建	富士宮市弓沢町732		S 造 平屋建	m ² 49.23 40.49	無償	無償	3.4.1) 8.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	弓道場
	計					m ² 447.76 702.55		0			
19	工作物		富士宮市弓沢町732			1式		67,794,400	3.7.1) 16.6.30	三井住友 ファイナンス& リース(株)	普通教室空調 設備(県立高 等学校一括契 約)
20	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	テニス コート 砂場
21	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	相撲 練習場
22	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 PTA会長	野球用投球練 習場
23	工作物		富士宮市弓沢町732			1本	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 PTA会長	ハンマー投げ 用 囲い
24	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 PTA会長	創立100周年 記念モニュメ ント
25	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	7.4.1) 12.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 PTA会長	砂置場
26	工作物		富士宮市弓沢町732			1個	無償	無償	3.4.1) 8.3.31	静岡県立 富岳館高等学校 後援会会長	弓道場 的 場・防矢壁
27	工作物		富士宮市弓沢町732			1式		47,267,517	6.7.1) 19.6.30	NTT・TC リース(株) 静岡支店	特別教室空調 設備(県立高 等学校一括契 約)
	計							115,061,917			

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
長期 継続 契約	静岡県立富 岳館高校外 3校電子複 写機賃貸借 及び使用契 約	事務室職員室電子 複写機 7台 (契約日) 令和2年4月1日	円 1,421,178	円 284,235	円 284,235	円 284,235	円 284,235	円 284,235

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
長期 継続 契約	静岡県立富 岳館高校外 3校電子複 写機賃貸借 及び使用契 約	事務室職員室電子 複写機 7台 (契約日) 令和7年4月1日	円 3,455,760	円 691,152	円 691,152	円 691,152	円 691,152	円 691,152
	高速カラー 印刷機賃貸 借契約	職員室高速カラー 印刷機 1台 (契約日) 令和7年4月1日	円 1,947,000	円 389,400	円 389,400	円 389,400	円 389,400	円 389,400

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	富士宮市 弓沢町 732	学校敷地	学校敷地	m ² 70.08	免除	免除	3.4.1 ┆ 8.3.31	静岡県立富岳館 高等学校後援会長	弓道場設置
2	"	"	"	"	"	m ² 6.90	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	弓道場 防矢ネット設置
3	"	"	"	"	"	m ² 95.00	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	部室棟設置
4	"	"	"	"	"	m ² 370.53	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	生活館(合宿所) 設置
5	"	"	"	"	"	m ² 0.21	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	富士宮市長	避難場所標示板 設置
6	"	"	"	"	"	m 26.80	"	"	4.4.1 ┆ 9.3.31	"	渋沢堀余水吐施設用 地(地下埋設)
7	"	"	"	"	"	m ² 15.53	"	"	7.4.1 ┆ 12.3.31	"	防災倉庫設置
8	"	"	"	"	"	m ² 5.53	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	非常用給水タンク 設置
9	"	"	"	"	"	m ² 0.16	"	"	7.4.1 ┆ 12.3.31	"	防犯灯設置
10	"	"	"	"	"	m ² 1.00	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	非常用同報無線 屋外受信所設置
11	"	"	"	"	"	本柱1本	1,500	1,500	4.4.1 ┆ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信事業用 電柱設置
12	"	"	"	"	"	本柱7本 支線7条	1,500	21,000	3.4.1 ┆ 8.3.31	東京電力パワーグリッド 株富士支社長	電力供給線路用 電柱等設置
13	"	"	"	"	"	m ² 0.19	"	190	7.4.1 ┆ 8.3.31	日本郵便(株) 富士宮郵便局長	郵便ポスト設置
14	建物	事務所建	富士宮市 弓沢町 732	RC 4階	RC 4階	m ² 3.00	免除	免除	6.4.1 ┆ 9.3.31	静岡県立富岳館 高等学校PTA会長	生徒用パン販売所
15	"	"	"	"	"	m ² 6.60	"	"	7.4.1 ┆ 10.3.31	"	PTA進路補助員・ 図書室補助員 執務場所
16	"	"	"	"	"	m ² 0.07	"	"	4.4.1 ┆ 9.3.31	富士宮市長	防災用地域 防災無線設置
17	"	"	"	"	"	m ² 0.02	"	"	3.4.1 ┆ 8.3.31	"	災害用同報無線 戸別受信機設置
18	"	"	"	"	"	m ² 0.01	"	"	4.4.1 ┆ 9.3.31	"	防災用デジタル 簡易無線設置

□□□□□

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数 又 は 面 積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
19	土地	学校敷地	富士宮市 弓沢町 7 3 2	学校敷地	学校敷地	m ² 3.01		131,080	7. 4. 1) 10. 3. 31	東名電機㈱	太陽光発電事業
	建物	事務所建	富士宮市 弓沢町 7 3 2	RC 4階	RC 4階	m ² 713.35					
20	"	"	"	"	"	m ² 4.00		323,400	6. 4. 1) 9. 3. 31	コカ・コーラボトラーズ ジャパン㈱ベンディング 中部営業地区統括部ベン ディング静岡支店	飲料用自動販売機 設置2台
21	土地	学校敷地	富士宮市 弓沢町 7 3 2	学校敷地	学校敷地	m ² 4.00		788,000	6. 4. 1) 9. 3. 31	ダイドードリンコ㈱	飲料用自動販売機 設置2台
22	"	"	"	"	"	m ² 4.00		250,000	6. 4. 1) 9. 3. 31	"	飲料用自動販売機 設置2台
23	"	"	"	"	"	支線柱 1本 支線1条	1500	3,000	4.12.23) 8. 3. 31	東京電力パワーグリッド ㈱富士支社長	電力供給線路用 電柱等設置
24	"	"	"	"	"	支線1条	1,500	1,500	5. 5. 25) 9. 3. 31	西日本電信電話㈱ 静岡支店長	電気通信事業用 電柱設置
合計								1,519,670			

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-02 台類	78	(0) 0	0	(0) 0	0	78
01-04 収納保管庫類	57	(0) 0	0	(1) 1	0	56
01-05 印刷機器類	0	(0) 2	0	(0) 2	0	0
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印刷類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	28	(0) 0	0	(0) 0	0	28
01-14 冷暖房器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-99 その他の片用器具類	16	(0) 1	0	(1) 2	0	15
02-01 情報処理機器類	268	(0) 14	179,850	(0) 6	0	276
02-02 情報伝達機器類	7	(0) 0	0	(0) 3	0	4
02-03 再生機器類	2	(0) 5	1,980,000	(2) 2	0	5
03-02 観察・観測用光学機器類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
03-03 視覚用再生等機器類	11	(0) 0	0	(0) 2	0	9
04-01 診療・診断用機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-03 看護用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-01 強度(物性)試験計測機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
05-03 電気試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-04 分析化学機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
05-05 生物化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-07 測量機器類	7	(0) 10	0	(0) 10	0	7
05-08 度量衡測定機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-99 その他の試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
06-02 金属加工用機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
06-04 電気電子機器類	6	(0) 2	0	(1) 2	0	6
06-09 木工用機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
06-99 その他の諸機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
07-01 農産用機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
07-02 林産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-03 畜産用機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
10-06 家庭科用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
10-07 音楽用器具類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
10-10 地学天文学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

□□□□□

備品・図書調

(令和6年度)

区分	令和6年 3月31日 現在	増		減		令和7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
10-12 体育保健用器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
10-99 その他の教育用器具類	3	(0) 1	0	(0) 0	0	1
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
50-01 図書	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
計	672	(0) 35	2,159,850	(5) 31	0	676

令和7年度中増減なし

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	その他の情報処理機器	居住空間設計実習装置一式 サーバー他一式	年間20日 建築実習授業用	R4. 3	円 19,976,000
2	02-01	その他の情報処理機器	プレゼンテーション実習装置一式 サーバー他一式	年間26日 情報等授業用	R4. 3	19,800,000
3	07-01	環境整備用機器	温室制御システム	毎日(年間365日) 農場温室管理用	R3. 3	17,875,000
4	05-07	距離・長さ測量機器	測量設計図化自動処理装置 トータルステーション他	年間20日 建築実習授業用	H22. 2	12,888,933
5	05-99	計測機器	万能材料試験機	年間15日 工業テクノロジー授業用	H7. 3	12,720,500
6	07-01	育成用機器	養液栽培装置	毎日(年間365日) 農場温室管理用	R4. 3	10,406,000
7	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	情報基礎実習装置一式 サーバー他一式	年間240日 情報等授業用	H31. 3	9,612,000
8	07-01	環境整備用機器	環境調節装置	毎日(年間365日) 農場温室管理用	R4. 3	5,665,000
9	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	年間240日 情報等授業用	R1. 8 (管理換)	5,366,412
10	03-03	プロジェクター	プロジェクター	年間240日 授業用	R3. 3 (管理換)	4,207,500
11	06-04	発電気電動機	緊急災害用ハイブリッド風力発電 Kharios N500-GL-S	年間80日 工業テクノロジー授業用	H26. 1	4,141,200
12	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式)	年間240日 授業用	R3. 3 (管理換)	3,808,217
13	03-02	顕微鏡	倒立顕微鏡システム TE300-2外	年間120日 バイオ授業用	H10. 1	3,339,000
14	01-13	冷蔵(凍)庫	プレハブ式冷凍冷蔵庫	毎日(年間365日) 加工食品保管用	H13. 7	3,255,000
15	01-04	書類収納庫	書類収納庫 壁面書類収納庫	毎日(年間365日) 進路資料保管用	H14. 3	3,202,500
16	07-03	環境整備用機器	除糞機 ボブキャットTCM606	年間120日 農場整備用	H6. 1	3,193,000
17	07-03	環境整備用機器	除糞機 ショベルローダー	年間12日 農場整備用	H2. 3	2,678,000
18	05-04	培養機器	微生物培養装置 微生物培養装置一式	年間80日 総合実習等授業用	H9. 1	2,399,900
19	07-01	加工用機器	蒸気豆煮釜 ステンレス製回転式蒸気釜	年間10日 食品加工授業用	H7. 3	2,317,500
20	01-13	その他の厨房器具	蒸気ボイラー SZ-120	年間10日 食品加工授業用	H13. 8	2,184,000

□□□□□

動物管理状況調

(令和6年度)

品名	区分 品種	令和6年 3月31日 現在 頭羽数	増				減					頭羽数 差引	摘要	
			分類 換	購入	管理換 その他	計	分類換 売却		死亡	管理換 その他	計			
							出生	購入						
犬	ミニチュア ダックスフンド	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	雌 1
豚	大ヨーク	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	雌 1
計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

令和7年度中増減なし

余 白

生 産 物

品名 (単位)		味噌(個)				いちごジャム(個)				マーマレード(個)				あじさい(鉢)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
区分	(ア)数量(頭)																	
	数量(個) 作付数量(鉢)	320	330	0	10	215	240	0	25	215	240	0	25	10	0	0	△ 10	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	320	330	0	10	215	240	0	25	215	240	0	25	10	0	0	△ 10	
	計	320	330	0	10	215	240	0	25	215	240	0	25	10	0	0	△ 10	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	—	—	—	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		3.1				11.6				11.6				△ 100.0				
払 高	売 払 数 量	320	330	0	10	215	240	0	25	215	240	0	25	10	0	0	△ 10	
	売 払 金 額	円 192,000	円 231,000	円 0	円 39,000	円 64,500	円 72,000	円 0	円 7,500	円 64,500	円 72,000	円 0	円 7,500	円 2,000	円 0	円 0	円 △ 2,000	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	320	330	0	10	215	240	0	25	215	240	0	25	10	0	0	△ 10	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

品名 (単位)		ケイトウ(鉢)				サイネリア(鉢)				サルビア(鉢)				サンセベリア(鉢)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
(ア)作付数量(鉢)																		
		140	82	0	△ 58	0	104	0	104	108	211	0	103	47	66	0	19	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	140	82	0	△ 58	0	104	0	104	108	211	0	103	47	66	0	19	
	計	140	82	0	△ 58	0	104	0	104	108	211	0	103	47	66	0	19	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	—	1.00	—	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	1.00		
同前年比(%) (b-a)/a×100		△ 41.4				—				95.4				40.4				
払 高	売 払 数 量	140	82	0	△ 58	0	104	0	104	108	211	0	103	47	66	0	19	
	売 払 金 額	円 7,000	円 3,164	円 0	円 △ 3,836	円 0	円 18,802	円 0	円 18,802	円 5,400	円 10,550	円 0	円 5,150	円 7,050	円 9,900	円 0	円 2,850	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	140	82	0	△ 58	0	104	0	104	108	211	0	103	47	66	0	19	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

(令和7年5月31日現在)

シヤコバサボテン(鉢)				ストック(鉢)				ストレプトカーパス(鉢)				ゼラニウム(鉢)				セントポーリア(鉢)			
5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a
16	0	0	△ 16	167	56	0	△ 111	9	0	0	△ 9	3	0	0	△ 3	4	0	0	△ 4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	0	0	△ 16	167	56	0	△ 111	9	0	0	△ 9	3	0	0	△ 3	4	0	0	△ 4
16	0	0	△ 16	167	56	0	△ 111	9	0	0	△ 9	3	0	0	△ 3	4	0	0	△ 4
1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	—	—	1.00
△ 100.0				△ 66.5				△ 100.0				△ 100.0				△ 100.0			
16	0	0	△ 16	167	56	0	△ 111	9	0	0	△ 9	3	0	0	△ 3	4	0	0	△ 4
円 3,200	円 0	円 0	円 △ 3,200	円 14,810	円 4,100	円 0	円 △ 10,710	円 1,500	円 0	円 0	円 △ 1,500	円 600	円 0	円 0	円 △ 600	円 1,000	円 0	円 0	円 △ 1,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	0	0	△ 16	167	56	0	△ 111	9	0	0	△ 9	3	0	0	△ 3	4	0	0	△ 4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

品名 (単位)	トレニア(鉢)				日々草(鉢)				なでしこ(鉢)				バラ(切花)				
	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
(ア)作付数量(鉢) 作付数量(本)																	
	164	70	0	△ 94	166	0	0	△ 166	4	0	0	△ 4	156	144	0	△ 12	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	164	70	0	△ 94	166	0	0	△ 166	4	0	0	△ 4	156	144	0	△ 12
	計	164	70	0	△ 94	166	0	0	△ 166	4	0	0	△ 4	156	144	0	△ 12
単位数(イ/ア)	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100	△ 57.3				△ 100.0				△ 100.0				△ 7.7				
払 高	売 払 数 量	164	70	0	△ 94	166	0	0	△ 166	4	0	0	△ 4	156	144	0	△ 12
	売 払 金 額	円 21,820	円 4,940	円 0	円 △ 16,880	円 4,952	円 0	円 0	円 △ 4,952	円 400	円 0	円 0	円 △ 400	円 4,680	円 1,440	円 0	円 △ 3,240
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	164	70	0	△ 94	166	0	0	△ 166	4	0	0	△ 4	156	144	0	△ 12
残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

(令和7年5月31日現在)

パンジー(鉢)				ビオラ(鉢)				ひまわり(鉢)				プリムラ・マラコイデス(鉢)				ベゴニア(鉢)			
5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a
1,279	527	0	△ 752	896	493	0	△ 403	50	0	0	△ 50	17	278	0	261	24	0	0	△ 24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,279	527	0	△ 752	896	493	0	△ 403	50	0	0	△ 50	17	278	0	261	24	0	0	△ 24
1,279	527	0	△ 752	896	493	0	△ 403	50	0	0	△ 50	17	278	0	261	24	0	0	△ 24
1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	—	1.00
△ 58.8				△ 45.0				△ 100.0				1,535.3				△ 100.0			
1,279	527	0	△ 752	896	493	0	△ 403	50	0	0	△ 50	17	278	0	261	24	0	0	△ 24
円 54,290	円 25,798	円 0	円 △ 28,492	円 43,122	円 24,650	円 0	円 △ 18,472	円 2,500	円 0	円 0	円 △ 2,500	円 850	円 12,292	円 0	円 11,442	円 264	円 0	円 0	円 △ 264
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,279	527	0	△ 752	896	493	0	△ 403	50	0	0	△ 50	17	278	0	261	24	0	0	△ 24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
円 1,980				円 1,188															
円 2,631	円 1,980			円 1,188								円 942							
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

品名 (単位)		ペゴニア(プランター)				ペチュニア(鉢)				マリーゴールド(鉢)				メランポジウム(鉢)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
(ア)作付数量(鉢)																		
		52	52	0	0	239	482	0	243	762	372	0	△ 390	144	137	0	△ 7	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	52	52	0	0	239	482	0	243	762	372	0	△ 390	144	137	0	△ 7	
	計	52	52	0	0	239	482	0	243	762	372	0	△ 390	144	137	0	△ 7	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	—	—	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	1.00		
同前年比(%) (b-a)/a×100		0.0				101.7				△ 51.2				△ 4.9				
払 高	売 払 数 量	52	52	0	0	239	482	0	243	762	372	0	△ 390	144	137	0	△ 7	
	売 払 金 額	円 57,200	円 57,200	円 0	円 0	円 11,950	円 23,284	円 13,806	円 11,334	円 32,484	円 18,456	円 17,656	円 △ 14,028	円 7,200	円 6,850	円 0	円 △ 350	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	52	52	0	0	239	482	0	243	762	372	0	△ 390	144	137	0	△ 7	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

(令和7年5月31日現在)

よく咲くスマレ(鉢)				花苗(鉢)				枝豆(袋)				カブ(袋)				キャベツ(個)			
5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a
1,353	818	0	△ 535	0	0	34	0	0	19	0	19	60	185	0	125	143	64	0	△ 79
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,353	818	0	△ 535	0	0	34	0	0	19	0	19	60	185	0	125	143	64	0	△ 79
1,353	818	0	△ 535	0	0	34	0	0	19	0	19	60	185	0	125	143	64	0	△ 79
1.00	1.00	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	1.00	1.00	1.00	-	1.00	1.00	1.00	-	1.00
△ 39.5			-				-				208.3				△ 55.2				
1,353	818	0	△ 535	0	0	34	0	0	19	0	19	60	185	0	125	143	64	0	△ 79
円 49,314	円 39,796	円 0	円 △ 9,518	円 0	円 0	円 627	円 0	円 0	円 3,800	円 0	円 3,800	円 6,000	円 22,400	円 0	円 16,400	円 14,300	円 12,800	円 0	円 △ 1,500
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,353	818	0	△ 535	0	0	34	0	0	19	0	19	60	185	0	125	143	64	0	△ 79
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
円 2,376	円	円	円	円 0	円 0	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円 810	円 2,376	円	円	円 0	円 0	円 0	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円	円	円	円	円	円	円 627	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

品名 (単位)		きゅうり(袋)				小松菜(袋)				サニーレタス(袋)				ししとう(袋)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
区分	(ア)作付数量(鉢)																	
	作付数量(本)																	
	作付数量(袋)																	
	作付数量(束)	283	1,153	79	870	99	98	0	△ 1	165	82	0	△ 83	82	222	0	140	
	作付数量(個)																	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	283	1,153	79	870	99	98	0	△ 1	165	82	0	△ 83	82	222	0	140	
	計	283	1,153	79	870	99	98	0	△ 1	165	82	0	△ 83	82	222	0	140	
単位数(イ/ア)		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100		307.4			△ 1.0				△ 50.3				170.7					
払 高	売 払 数 量	283	1,153	79	870	99	98	0	△ 1	165	82	0	△ 83	82	222	0	140	
	売 払 金 額	円 28,300	円 173,140	円 11,850	円 144,840	円 9,900	円 19,600	円 0	円 9,700	円 16,500	円 15,800	円 0	円 △ 700	円 8,200	円 22,200	円 0	円 14,000	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	283	1,153	79	870	99	98	0	△ 1	165	82	0	△ 83	82	222	0	140	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

(令和7年5月31日現在)

じゃがいも(袋)				スイカ(個)				大根(本)				玉ねぎ(袋)				とうもろこし(本)			
5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a
258	0	0	△ 258	30	1	0	△ 29	226	67	0	△ 159	191	122	208	△ 69	312	180	0	△ 132
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
258	0	0	△ 258	30	1	0	△ 29	226	67	0	△ 159	191	122	208	△ 69	312	180	0	△ 132
258	0	0	△ 258	30	1	0	△ 29	226	67	0	△ 159	191	122	208	△ 69	312	180	0	△ 132
1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	—	1.00
△ 100.0				△ 96.7				△ 70.4				△ 36.1				△ 42.3			
258	0	0	△ 258	30	1	0	△ 29	226	67	0	△ 159	191	122	208	△ 69	312	180	0	△ 132
円 38,700	円 0	円 0	円 △ 38,700	円 30,000	円 1,000	円 0	円 △ 29,000	円 22,600	円 11,000	円 0	円 △ 11,600	円 19,100	円 18,500	円 31,200	円 △ 600	円 31,200	円 18,000	円 0	円 △ 13,200
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
258	0	0	△ 258	30	1	0	△ 29	226	67	0	△ 159	191	122	208	△ 69	312	180	0	△ 132
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

区分	品名 (単位)	トマト(袋)				ナス(袋)				ネギ(束)				白菜(個)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成日 現在	差 b-a	
(ア)作付数量(個)	作付数量(袋)																	
	作付数量(束)																	
	作付数量(本)	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
	作付数量(イ)	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
	計	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
単位数(イ/ア)		1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	—	1.00		
同前年比(%) (b-a)/a×100		△ 100.0				31.8				17.8				△ 21.3				
払 高	売 払 数 量	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
	売 払 金 額	円 113,546	円 0	円 0	円 △ 113,546	円 23,100	円 20,300	円 0	円 △ 2,800	円 16,300	円 19,200	円 0	円 2,900	円 15,000	円 13,600	円 0	円 △ 1,400	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	650	0	0	△ 650	154	203	0	49	163	192	0	29	75	59	0	△ 16	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

品名 (単位)		レタス(個)				野菜苗				さつまいも(袋)				米(袋)				
		5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	監査 調書 作成 日現在	差 b-a	
区 分	(ア)作付数量(本)																	
	作付数量(袋)																	
	作付数量(束)																	
	作付数量(個)	79	0	0	△ 79	0	94	0	94	0	13	0	13	89	89	0	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	79	0	0	△ 79	0	94	0	94	0	13	0	13	89	89	0	0	
	計	79	0	0	△ 79	0	94	0	94	0	13	0	13	89	89	0	0	
単位数(イ/ア)		1.00	—	—	1.00	—	1.00	—	1.00	—	1.00	—	1.00	1.00	1.00	—	—	
同前年比(%) (b-a)/a×100		△ 100.0				—				—				0.0				
払 高	売 払 数 量	79	0	0	△ 79	0	94	0	94	0	13	0	13	89	89	0	0	
	売 払 金 額	円 7,900	円 0	円 0	円 △ 7,900	円 0	円 4,700	円 0	円 4,700	円 0	円 3,900	円 0	円 3,900	円 26,700	円 89,000	円 0	円 62,300	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管 理 換 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	79	0	0	△ 79	0	94	0	94	0	13	0	13	89	89	0	0
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要	当年度払出し・翌年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	前年度払出し・当年度調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
	7年5月払出し・7年6月調定額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

職 員 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	校 長	神 田 明 葉		□□□	□ . □	□□□
2	副 校 長	秋 山 達		□□□	□ . □	□□□
3	教 頭	山 崎 喜 之	理 科	□□□	□ . □	□□□
4	事 務 長	金 嶋 晃 子	事務総括	□□□	□ . □	□□□
5	教 諭	清 水 保 雄	保健体育	□□□	□ . □	□□□
6	〃	鈴 木 浩 之	国 語	□□□	□ . □	□□□
7	〃	鈴 木 直 人	農 業	□□□	□ . □	□□□
8	〃	家 田 武 彦	工 業	□□□	□ . □	□□□
9	〃	榑 原 裕 彦	商 業	□□□	□ . □	□□□
10	〃	荻 野 和 代	国 語	□□□	□ . □	□□□
11	〃	堀 江 俊 也	国 語	□□□	□ . □	□□□
12	〃	植 松 直 樹	商 業	□□□	□ . □	□□□
13	〃	永 田 幸 夫	工 業	□□□	□ . □	□□□
14	〃	成 澤 浩	理 科	□□□	□ . □	□□□
15	〃	川 内 豊	理 科	□□□	□ . □	□□□
16	〃	根 岸 淳	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
17	〃	板 子 忠	農 業	□□□	□ . □	□□□
18	〃	松 村 浩 美	国 語	□□□	□ . □	□□□
19	〃	瀧 真 幸	数 学	□□□	□ . □	□□□
20	〃	山 崎 敬 久	商 業	□□□	□ . □	□□□
21	〃	山 口 恭 子	福 祉	□□□	□ . □	□□□
22	〃	渡 邊 恭 世	外 国 語	□□□	□ . □	□□□
23	〃	前 田 宏 美	外 国 語	□□□	□ . □	□□□
24	〃	白 井 慎 二	保健体育	□□□	□ . □	□□□
25	〃	高 田 晋 松	保健体育	□□□	□ . □	□□□
26	〃	伊 藤 清 久	商 業	□□□	□ . □	□□□
27	〃	原 英 樹	外 国 語	□□□	□ . □	□□□
28	〃	遠 藤 晋 一	外 国 語	□□□	□ . □	□□□
29	〃	渡 邊 浩 泰	国 語	□□□	□ . □	□□□
30	〃	村 田 浩 司	農 業	□□□	□ . □	□□□
31	〃	後 藤 孝 広	保健体育	□□□	□ . □	□□□
32	〃	今 井 美 和	家 庭	□□□	□ . □	□□□
33	〃	遠 藤 尚 子	外 国 語	□□□	□ . □	□□□
34	〃	山 田 由 佳	家 庭	□□□	□ . □	□□□
35	〃	関 剛 志	数 学	□□□	□ . □	□□□
36	〃	島 袋 桜	工 業	□□□	□ . □	□□□
37	〃	山 本 敏 弘	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
38	〃	小 泉 大 八	保健体育	□□□	□ . □	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
39	教 諭	鷺 巢 延 圭	保健体育	□□□	□ . □	□□□
40	”	笹 原 晃	工 業	□□□	□ . □	□□□
41	”	田 島 聖 也	農 業	□□□	□ . □	□□□
42	”	遠 山 誠 士	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
43	”	内 田 真 里 奈	農 業	□□□	□ . □	□□□
44	”	加 藤 直 也	数 学	□□□	□ . □	□□□
45	”	岡 本 陽 和	工 業	□□□	□ . □	□□□
46	”	山 田 哲 久	数 学	□□□	□ . □	□□□
47	”	小 島 春 城	工 業	□□□	□ . □	□□□
48	”	鈴 木 葉	理 科	□□□	□ . □	□□□
49	”	松 浦 恵 太	地歴公民	□□□	□ . □	□□□
50	”	足 立 真 里 奈	国 語	□□□	□ . □	□□□
51	”	松 宮 桃 香	農 業	□□□	□ . □	□□□
52	”	神 田 華 唯	商 業	□□□	□ . □	□□□
53	養護教諭	木 口 璃 賢	保 健	□□□	□ . □	□□□
54	実習助手	勝 又 あ かね	工 業	□□□	□ . □	□□□
55	主 査	小 泉 由 美	庶 務	□□□	□ . □	□□□
56	”	高 野 穂 多 果	管 財	□□□	□ . □	□□□
57	主 任	河 野 由 真	会 計	□□□	□ . □	□□□
58	主 事	白 井 伶	庶 務	□□□	□ . □	□□□
平 均 年 数					4 . 3	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	井出明行	農業	□□□	年 月 □ . □	□□□
2	教諭	村上明美	家庭	□□□	□ . □	□□□
3	教諭	杉山直樹	理科	□□□	□ . □	□□□
4	外国語指導講師	カイチュウ	外国語	□□□	□ . □	□□□
5	非常勤講師	遠藤和帆	美術	□□□	□ . □	□□□
6	〃	久野康子	福祉	□□□	□ . □	□□□
7	〃	後藤正彦	商業	□□□	□ . □	□□□
8	〃	富山剛幸	農業	□□□	□ . □	□□□
9	〃	望月世紀子	音楽	□□□	□ . □	□□□
10	〃	吉田みどり	書道	□□□	□ . □	□□□
11	〃	渡井美哲	商業	□□□	□ . □	□□□
12	部活動指導員	宇佐美潤	女子ソフトテニス	□□□	□ . □	□□□
13	非常勤労務職員	松島通	用務	□□□	□ . □	□□□
14	〃	稲葉温子	用務	□□□	□ . □	□□□
15	〃	内藤浩信	用務	□□□	□ . □	□□□
16	〃	渡邊福一	農業	□□□	□ . □	□□□
17	〃	梅原正春	農業	□□□	□ . □	□□□
18	〃	岡本憲明	農業	□□□	□ . □	□□□
19	〃	石川雄治	農業	□□□	□ . □	□□□
20	〃	郡山政義	農業	□□□	□ . □	□□□
21	学校医	芦澤厚志	内科	□□□	□ . □	□□□
22	〃	花井有紀子	歯科	□□□	□ . □	□□□
23	〃	鈴木高広	耳鼻科	□□□	□ . □	□□□
24	〃	天神光充	眼科	□□□	□ . □	□□□
25	学校薬剤師	高山秀樹	薬剤師	□□□	□ . □	□□□

□□□□□□□□

職員の年齢調

(令和7年5月31日現在)

年齢	人員	摘要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	6	
30歳以上40歳未満	9	
40歳以上50歳未満	6	
50歳以上56歳未満	14	
56歳以上61歳未満	12	
61歳以上	11	再任用職員 8人
計	58	平均年齢 49.9歳

□□□□□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 58 人
	職員数 59 人
受 診 率	98.31%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1(1)人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	25(25)人
D 2		要経過観察	20(20)人
D 3		医 療 不 要	10(10)人
区 分 者 計			56(56)人
未区分者数			2 人
合 計			58(56)人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 2 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 () 人